

# 能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(平成30年度対象)

令和元年8月

能代市教育委員会

# 目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
1	趣旨	
2	事務点検・評価の実施	
3	事務点検・評価の方法	
4	事務点検・評価の流れ	
II	事務点検・評価の結果	3
基本目標 1	学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進	
①	学校・家庭・地域の連携協力の推進	3
②	保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援	12
③	地域活動に必要な学習機会の提供	14
④	読書活動の推進	16
⑤	食育の推進	18
基本目標 2	豊かな人間性を育む学校教育の推進	
①	主体的で創意ある教育活動の推進	20
②	心豊かでたくましい子どもを育てる指導	22
③	基礎学力の向上を図る学習指導	25
④	幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	28
⑤	安全・安心な学校教育環境の整備	30
基本目標 3	より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進	
①	学習の成果を地域に生かす取組の推進	35
②	市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実	37
③	学習を通じた生きがいがづくり、仲間づくりの支援	39
④	社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実	41
基本目標 4	ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興	
①	伝統芸能の継承	46
②	文化財保護事業の推進	48
③	文化芸術の振興	51
基本目標 5	スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進	
①	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	55
②	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	57
③	スポーツを活用した地域の活性化	59
④	市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	61
III	教育委員会の運営状況	63
(1)	教育委員会の開催状況	
(2)	教育委員の活動状況	

# I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「事務点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し公表します。

## 2 事務点検・評価の実施

平成27年に策定した「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」（以下「大綱」という。）の計画期間が平成29年度で終了するにあたり、これまでの施策の成果と課題を整理し、子どもたちを取り巻く家庭環境や地域社会の大きな変化に対応すべく、平成30年度から5年間を計画期間とした新たな大綱を平成30年3月に策定しました。

「学び合う感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を基本理念に、最優先すべき目標を「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」と定め、教育関連施策の充実を図ろうとするものです。

事務点検・評価の実施にあたっては、この大綱を踏まえ、次により行います。

### (1) 事務点検・評価の位置づけ

事務点検・評価は、大綱の進行管理として実施し、第2次能代市総合計画の進行管理と合わせてPDCAサイクルを確立し、より効率的な事業進捗を図るとともに、効果的な教育行政を推進します。

### (2) 事務点検・評価の対象

事務点検・評価の対象は、大綱の基本目標及び施策の方向性に沿った主な事業や取り組みとし、その実績や成果を自己点検、自己評価したうえで、課題と今後の方向性を整理し、次年度の目標を明らかにします。

## 3 事務点検・評価の方法

事務点検・評価は、目標に対する達成状況や成果等を基準に自己評価を行い、「目標を上回る」、「ほぼ目標どおり」、「目標をやや下回る」、「目標を大幅に下回る」の4区分とし、今後の取組の方向性は、「拡充」、「継続」、「廃止検討」、「その他」の4区分とします。

また、事務点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から外部評価をしていただきます。

秋田大学教育文化学部長	佐藤修司氏
元能代第二中学校校長	佐藤敬顕氏

## 4 事務点検・評価の流れ

### (1) 所管課による事務点検・評価

教育部各課及び施設等は、所管の対象事務について、事務点検・評価案（事務点検・

評価シート) を取りまとめます。

(2) 内部評価

所管課がまとめた事務点検・評価案を部内検討し、次年度に向けた課題や今後の取組の方向性を定めます。

(3) 学識経験者による外部評価

事務点検・評価案に関して学識経験者の外部評価を経て、事務点検・評価報告書(以下「報告書」という。)を作成します。

(4) 教育委員会の議決

報告書を教育委員会に諮り議決をします。

(5) 議会への提出及び公表

報告書を議会へ提出し、ホームページ等で市民に公表します。

(6) 報告書の活用

能代市総合計画の第2期実施計画の策定や翌年度予算編成において、事務点検・評価を踏まえた的確な対応に努めます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 事務点検・評価の結果

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進
方針・目標	自分が住む地域への理解を深め、「ふるさと能代」に愛着をもった子どもたちを育成するため、能代の地域全体を学びの場とした体験活動を中心に事業を推進します。
事業・取組名	のしろDEマナブゥ事業
目標値	マナブゥ市の参加人数を、過去3年間の平均値と同等を目指します。
事務事業の実績	<p>(1) 講座の実施回数及び参加人数 61講座 442人参加 (H29: 65講座 593人参加)</p> <p>(2) マナブゥ・イベントの実施 ・ミニマナブゥ市の開催 (5/27開催) ・マナブゥ市の開催 (10/6開催 延べ602人参加) ・ふるさと学習交流会の開催 (学校教育課との共催) 郷土芸能発表1団体</p> <p>(3) マナブゥ・カードの配布 1,325枚配布 (H29 1,684枚)</p>
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明] ①マナブゥ市の参加人数 延べ602人参加 過去3年間の平均値 493.3人 (H29: 535人、H28: 534人、H27: 411人) ②マナブゥカードを配布の際、どこで使えるのか説明するとともにメモを付け、より分かりやすく周知した。マナブゥ市において、新たに参加した市民団体があり、事業のPR効果が見られた。</p>
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組] ①ニーズに応じた事業展開 アンケート結果に基づき、子ども達がやってみたい体験活動を各講座へ取り入れるなど、学校と日程調整を図りながら、より多くの子どもが参加できるような事業を推進する。 ②事業内容の検討 豊かな自然、歴史文化等の地域資源を生かしたイベント等の開催により、子ども達が楽しく遊びながら地域を学び、自ら興味を持って取組める内容の事業を検討。 ③イベントを通じた事業周知 子どもが参加するイベント等を通して、子ども達に分かりやすいカードの使用法やマナブゥ市、親子でのしろの宝さがし事業等の周知に努める。 ④マナブゥカードの使用拡充の検討 マナブゥカードが使える機会が年2回のため、今後、新たなカードの使用法や使用機会の拡充を検討する。 ⑤民間団体等との連携 事業の趣旨にあった民間団体 (青年会議所等) の講座等と連携し、カードがもらえる機会を増やすとともに、地域全体への理解を広げていく。</p>

<p>学識経験者の意見</p>	<p>○マナブゥ市への参加者数が増加しており、様々な努力の結果が出ている。今後とも、少子高齢化、人口減少の悪影響をできるだけ少なくして、地域の活性化につながるようになっていっていただきたい。</p> <p>□「のしろDEマナブゥ事業」に対する市民の認知度の高まりは、これまでの取組の成果と思う。マナブゥ市の参加人数も目標値を大きく上回っている。これからも子どもたちが興味・関心をもって取り組めるような体験活動を取り入れてほしい。</p> <p>□マナブゥ市は、マナブゥカードをゲットしながら様々な体験活動ができるというユニークな取組で、子どもたちの興味を喚起するものである。今後とも継続してほしい。</p>
-----------------	---

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進						
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進						
方針・目標	学校・家庭・地域・行政等が協働で、体験活動や見守りなど、子どもを育てる環境づくりに取り組みます。						
事業・取組名	放課後子ども教室推進事業						
目標値	週末体験活動の実施回数を各校、年5回を目指します。						
事務事業の実績	1 参加者数等の推移 (人)						
		30年度			29年度		
		学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数
	平日図書室等開放	12	2,240	26,869	7	1,352	23,797
	土曜日体育館開放	3	77	776	4	80	722
	夏休みプール開放	12	182	8,546	12	182	8,134
	週末体験活動	12	71	1,087	12	57	1,054
	総合プラン	7	35	366	5	36	204
	合計		2,605	37,644		1,707	33,911
	※子ども館改修による(2月1ヶ月間)休館を補うため「おでかけ子ども館」を実施した。コーディネーター、生涯学習奨励員等が講師やスタッフになり8回実施、述べ125人が参加。						
2 週末体験活動の主な活動実績							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金勇で茶道体験(淳城西小)</li> <li>・ユニカール(淳城南小)</li> <li>・クリスマスリース(第四小)</li> <li>・バブルサッカー(第五小)</li> <li>・親子でカヌー(向能代小)</li> <li>・木工作(朴瀬小)</li> <li>・デコパージュ(竹生小)</li> <li>・木で編むコースター(崇徳小)</li> <li>・野菜づくり(鶴形小)</li> <li>・恵方巻(浅内小)</li> <li>・クリスマス交流会(常盤小)</li> <li>・新米でだまっこ(二ツ井小)</li> </ul>							
実施回数 7回(2校)、6回(7校)、5回(3校)							
3 放課後子ども総合プランに基づく取組							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・向能代小 地域の昔教室(5回、延べ25人うち児童クラブ7人)</li> <li>・第五小 将棋教室(5回、延べ85人うち児童クラブ24人)</li> <li>・淳城南小 百人一首教室(4回、延べ80人うち児童クラブ42人)</li> <li>・二ツ井小 日本の文化教室(3回、延べ58人うち児童クラブ31人)</li> </ul>							
4 放課後児童クラブ未設置校における平日の体験活動							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹生小 音楽教室(5回、延べ46人)</li> <li>・崇徳小 百人一首教室(7回、延べ46人)</li> <li>・浅内小 絵画教室(6回、延べ26人)</li> </ul>							
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る						





基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進																
方針・目標	関係機関・団体と連携しボランティアや世代間交流の提供、社会環境づくりなどを行うことで、能代市の将来を担う青少年の自立・成長を促します。																
事業・取組名	青少年健全育成事業																
目標値	社会参加活動促進事業「みんなでAction!」の参加者数が、過去3年間の平均値との比較で同等を目指します。																
事務事業の実績	<p>1 青少年健全育成事業</p> <p>(1) 「平成30年度能代市青少年健全育成活動方針」策定 広報やホームページに掲載し、周知に努めた。</p> <p>(2) 社会参加活動促進事業「みんなでAction!」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動(5/14) 中学生 48人</li> <li>・非行防止街頭キャンペーン(7/9) 中学生6人、高校生15人</li> <li>・交通安全うちわ作戦(8/4) 高校生 2人</li> <li>・子育て、高齢者世帯訪問(9/27) 高校生 2人</li> </ul> <p style="text-align: right;">計4回 計73人</p> <p>(3) 事故防止の看板設置(河川、沼等) 138箇所</p> <p>2 能代市成人式の開催</p> <p>(1) 新成人で組織する実行委員会方式で開催</p> <p>(2) 記念品は能代らしいものとし、秋田杉製ぐい呑みとした。</p> <p>(3) 出席者の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>出席者</th> <th>出席率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>H9.4.2～H10.4.1生</td> <td>529人</td> <td>407人 76.9%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H8.4.2～H9.4.1生</td> <td>517人</td> <td>386人 74.7%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H7.4.2～H8.4.1生</td> <td>499人</td> <td>396人 79.4%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	出席者	出席率	H30	H9.4.2～H10.4.1生	529人	407人 76.9%	H29	H8.4.2～H9.4.1生	517人	386人 74.7%	H28	H7.4.2～H8.4.1生	499人	396人 79.4%
	対象者	出席者	出席率														
H30	H9.4.2～H10.4.1生	529人	407人 76.9%														
H29	H8.4.2～H9.4.1生	517人	386人 74.7%														
H28	H7.4.2～H8.4.1生	499人	396人 79.4%														
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る      <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①社会参加活動促進事業「みんなでAction!」の参加者数 延べ73人 過去3年間の平均値 65人 (H29:73人、H28:59人、H27:65人)</p> <p>②青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成活動方針(単年度方針)を定め関係機関・団体に協力を依頼した。</p> <p>③非行防止街頭キャンペーンは、中学生の参加が増加した。</p> <p>④成人式は、新成人により組織される実行委員(9人)により、企画・運営を行った。</p>																
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充      <input checked="" type="checkbox"/> 継続      <input type="checkbox"/> 廃止検討      <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係機関や団体と連携しながら、青少年健全育成活動に努める。</li> <li>・能代市民会議等の会員の高齢化が懸念されており、中・高校生へ非行防止キャンペーン等への参加を働きかけ、世代間交流を図るとともに、活動を通して将来地域を支える若者の育成や互いの活動が充実するよう支援していく。</li> </ul>																

	<p>②成人式実行委員会の充実</p> <p>新成人で構成される実行委員会を通し、大人の仲間入りをするという自覚を持つことを促し、また、新成人の企画運営が仲間づくりのきっかけとなるよう支援する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○「みんなで Action!」の参加者数が過去 3 年の平均を上回っており、成果が出ている。学校単位でも社会参加活動は行われているので、それらも総体として展開・把握できるようにしていただきたい。</p> <p>○成人式は重要な行事であるので、今後も充実を図り、若者の感性を生かしたものにしていっていただきたい。</p> <p>□能代市民会議の会員の高齢化が進んでいる現状は気になるところであるが、これまで以上に若者団体等と連携し、青少年健全育成活動の充実に努めてほしい。</p> <p>□新成人で組織する実行委員会方式での成人式の開催は、大人の仲間入りをするという自覚を促すうえでも意義があると思う。アイデアに富んだ企画運営により出席率の伸びにつなげてほしい。</p>

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進					
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進					
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。					
事業・取組名	子ども館活動事業					
目標値	1 来館者数 38,000 人を目指します。 2 講座受講者の評価が「満足」「やや満足」である割合 90%以上を目指します。					
事務事業の実績	1 来館者数の推移					
	区分	30年度	29年度	28年度		
	総来館者数	43,864人	45,225人	45,863人		
	プラネタリウム観覧者数	6,846人	6,581人	6,256人		
	事業活動参加者数	313件、4,201人	120件、5,631人	110件、6,691人		
	プラネタリウム団体観覧者数	56件、1,688人	49件、1,803人	55件、1,834人		
	※30年度から主催・共催事業のみ計上。また、これまで含まれていなかった小学校理科担当者研修会や宇宙検定等の事業を計上。					
	2 講座満足度アンケート【5段階評価で平均 4.89 (4.84)】					
	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足
	人数(人)	425(487)	34(52)	5(17)	1(2)	1(0)
	割合(%)	91.2(87.3)	7.3(9.3)	1.1(3.0)	0.2(0.4)	0.2(0)
	※( )は 29 年度数値					
	3 イベント・講座等実績 ※( )は 29 年度実績					
	(1) 主なイベント・講座					
	・かがくあそび	11 件、319 人(19 件、945 人)				
	・「はやぶさの日」イベント	2 件、108 人( 2 件、96 人)				
	・モデルロケット教室	7 件、44 人(7 件、90 人)				
	・ペットボトルロケット教室	5 件、51 人 (5 件、69 人)				
	・風の松原チャレンジ!	2 件、11 人( 4 件、50 人)				
	・自然観察会	2 件、13 人( 3 件、28 人)				
	・星空観察会	3 件、63 人(4 件、74 人)				
	・コズミックカレッジ	1 件、32 人( 1 件、48 人)				
	・ロボット・プログラミング講座	20 件、100 人(19 件、169 人)				
	・サイエンスポケットのおもしろ科学実験	2 件、70 人(2 件、66 人)				
	・【新規】わくわくミニ工作	28 件、431 人				
	(2) 特別イベント					
	・さよなら光学式プラネタリウム	84 人				
	・プラネタリウムリニューアルイベント	3 回投映、216 人				
	・のしろ銀河フェスティバル 2018	2 日間、980 人 (1 日、879 人) ※各会場のうち、子ども館への入館者数 (主な内容)				

	<p>水ロケット工作教室 2件、65人(1件、34人)  紙筒ロケット 3件、124人(2件、145人)  バルーンロケット 3件、92人  ※H29はフィルムロケットを実施(2件、144人)  プラネタリウム無料投映 10回、341人(4回、231人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【新規】おでかけ！子ども館 8回、126人  ※エレベーター改修工事による休館期間中に実施</li> <li>・【新規】春休み特別企画「家族で無料！プラネタリウムへ行こう」  197組、648人</li> </ul> <p>(3) 宇宙科学への関心を高める工夫  ・宇宙検定の実施</p> <table border="1" data-bbox="395 645 1358 779"> <thead> <tr> <th></th> <th>上級</th> <th>中級</th> <th>初級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>5人(11人)</td> <td>45人(13人)</td> <td>168人(108人)</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>3人(9人)</td> <td>8人(10人)</td> <td>118人(63人)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども館ウォークラリーの実施 47組、127人(65組、155人)</li> <li>・2階展示室「宇宙館」ガイドの実施 5件、130人(10件、190人)</li> </ul> <p>(4) 理科教育の拠点としての役割  ・小学校理科担当者研修会 8回、30人(8回、22人)</p>		上級	中級	初級	参加者数	5人(11人)	45人(13人)	168人(108人)	合格者数	3人(9人)	8人(10人)	118人(63人)
	上級	中級	初級										
参加者数	5人(11人)	45人(13人)	168人(108人)										
合格者数	3人(9人)	8人(10人)	118人(63人)										
<p>点検・評価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①プラネタリウムの観覧者数は増加したが、総来館者数は減少した。主な原因としては、プラネタリウムの設備更新に伴う投映休止により、休止期間中に学校教育団体の受け入れができなかったことや、エレベーターの全面改修工事に伴い、施設を休館した期間があったためと考えられる。また、事業参加者数が減少傾向にあり、事業内容の見直しや、利用者が事業に参加しやすい環境づくりに努めたい。</p> <p>②講座満足度アンケートは「満足」「やや満足」と答えた参加者の割合が90%を超えており、引き続き事業内容の充実に努めたい。</p>												
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①宇宙教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ロケットの製作・打ち上げ</li> <li>・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関係機関・団体との連携</li> <li>・宇宙教育の情報発信(JAXA動画ニュース等の放映)</li> </ul> <p>②小・中学校との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プラネタリウム(プラネタリウムを用いた天体関連の授業)の実施</li> <li>・施設見学、職場体験、インターンシップ等の受け入れ</li> </ul> <p>③デジタルプラネタリウムの活用</p> <p>プラネタリウム番組の投映のほか、3次元シミュレーションによる宇宙空間の飛行体験や太陽系の俯瞰など、デジタルプラネタリウムならではの多彩な機能を活用した事業を実施し、利用の拡大を図る。</p> <p>④1階展示室の環境整備</p> <p>利用者ニーズを把握しながら、子どもたちが遊びや交流を通して、楽しみなが</p>												

<p>学識経験者の意見</p>	<p>ら体験学習を行えるよう1階展示室の環境整備に努める。</p> <p>○総来館者数が減少しているが、休止期間や改修期間があるため致し方ないものである。おでかけ子ども館や、家族で無料プラネタリウムの企画など、努力が重ねられており、評価されるべきものである。利用者の満足度も高く、今後とも充実に努めていただきたい。</p> <p>□参加状況からは新規の「わくわくミニ工作」やデジタルプラネタリウムの無料投映、春休み特別企画「家族で無料！プラネタリウムへ行こう」などが好評であったことが窺い知れる。今後とも利用者のニーズに応じたイベントや講座を準備してほしい。</p> <p>□講座受講者の評価が「満足」と「やや満足」を合わせると98.5%となり、目標値を上回った。今後とも講座内容の充実に努めてほしい。</p>
-----------------	---

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																					
施策項目	② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援																																					
方針・目標	核家族化や少子化、産業構造の変化など、子どもや家庭を取り巻く状況が大きく変化しており、保護者に対し様々な手法で学習機会を提供し、家庭教育を支援します。																																					
事業・取組名	家庭教育支援事業																																					
目標値	保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数を、過去3年間の平均値との比較で同等を目指します。																																					
事務事業の実績	<p>1 庁内連携                  (1) 家庭教育支援事業推進会議を開催(3月)                  (2) 家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布(4月)</p> <p>2 情報提供                  (1) 家庭教育通信「Only one」を発行(3回)                  (2) 「ちょこっと家庭教育通信」を発行・配布(1件2種)</p> <p>3 学習機会の提供                  (1) 家庭教育関係講座の実施 (件、人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象</th> <th rowspan="2">講座名</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>23</td> <td>995</td> <td>22</td> <td>791</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">次代の親</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>8</td> <td>530</td> <td>5</td> <td>271</td> </tr> <tr> <td>社会参加活動推進事業「みんなでAction!」(命の大切さ事業含む)</td> <td>20</td> <td>中高生 160 受入団体 1,358</td> <td>22</td> <td>中高生 165 受入団体 1,277</td> </tr> <tr> <td>祖父母</td> <td>じじばばの孫かて講座</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「家庭教育に関する・家読におすすめの本」の貸出                  (H30) 利用者 96人 貸出冊数 175冊                  (H29) 利用者 125人 貸出冊数 207冊</p> <p>4 人材の育成                  祖父母等への学習機会の提供                  「じじばばの孫かて講座」の実施(参加者延べ12人)</p>					対象	講座名	30年度		29年度		講座数	参加者数	講座数	参加者数	保護者	家庭教育関係講座	23	995	22	791	次代の親	家庭教育関係講座	8	530	5	271	社会参加活動推進事業「みんなでAction!」(命の大切さ事業含む)	20	中高生 160 受入団体 1,358	22	中高生 165 受入団体 1,277	祖父母	じじばばの孫かて講座	1	12	1	22
対象	講座名	30年度		29年度																																		
		講座数	参加者数	講座数	参加者数																																	
保護者	家庭教育関係講座	23	995	22	791																																	
次代の親	家庭教育関係講座	8	530	5	271																																	
	社会参加活動推進事業「みんなでAction!」(命の大切さ事業含む)	20	中高生 160 受入団体 1,358	22	中高生 165 受入団体 1,277																																	
祖父母	じじばばの孫かて講座	1	12	1	22																																	
点検・評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る																																					
	[説明] ①保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数 23回 過去3年間の平均値 22.3回 (H29: 22回、H28: 22回、H27: 23回) ②祖父母等を対象とした「孫かて講座」は、例年の救命講習と新たに「孫との触れ合いあそび」を実施。受講者同士で遊びを実践し、大変好評であった。 ③家庭教育関係講座のアンケート結果は、「とても参考になった」等の評価が多い。 ④家庭教育通信の認知度は非常に高い。特に子育て家庭でよく読まれている。																																					



【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	③ 地域活動に必要な学習機会の提供
方針・目標	子どもの体験活動等に関わるコーディネーター等を対象に学習機会及び情報交換の場を提供し、資質向上を図り体験活動の推進・充実を図ります。
事業・取組名	コーディネーター等研修事業
目標値	放課後子ども教室コーディネーター会議を開催し、子ども達の体験活動に生かします。
事務事業の実績	1 放課後子ども教室コーディネーター会議 (4/23) 参加者 11人 (12人対象) 内容 コーディネーターの役割や情報交換 2 普通救命講習会 (6/30 から3回) 参加者 32名 内容 プール開放や体育館開放等に伴う安全管理員の任務及び救命法
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] ①年度初めの会議は、各地域で活動しているコーディネーターが一堂に会し、前年度の活動内容を振り返るとともに、新年度の活動や役割を確認し合うことができる有意義な会議であった。 放課後子ども教室コーディネーター会議参加者 11人 (12人対象) 参加率 92% ②普通救命講習会は、夏休みのプール開放前に実施。監視にあたる安全管理員全員が受講し、事故を未然に防ぐ対策を講じている。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ( ) [具体的な課題及び取組] ①研修・講習内容の充実 ・個々のコーディネーター力を尊重しつつ、豊富な社会経験を持つ外部人材の協力も得ながらスキルアップを図る。 ・県主催の研修への参加を勧奨し、市外の取組も参考に幅広い視野での活動ができるよう促す。 ・他の体験活動への参加等によりコーディネーター同士の連携強化を図る。 ②学校・家庭・地域との連携 ・コーディネーター等による学校訪問により学校との連携を密にし、より充実した活動とする。 ・コーディネーターの高齢化が懸念されているため、新たな後継者の発掘や育成につながるよう、情報交換しながらコーディネーターを支援していく。
学識経験者の意見	○学校と地域との連携はますます重要になっている。適切なコーディネーターの確保や養成はその要となるものであることから、今後とも充実を図っていただきたい。 <input type="checkbox"/> 年度初めに行っているコーディネーター会議は事業開始前に役割を確認するとともに、お互いの実践を紹介し合える貴重な場である。その会議では、他の市町村におけるコーディネーターの取組状況についても合わせて知ることができるような内容にしてほしい。



<input type="checkbox"/> コーディネーターが、子どもたちの通っている学校の状況を知ることができれば、放課後子ども教室がより充実するのではないかと思う。学校と連携しながら日常的にそのような場を構築できるようにしてはどうか。
--

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	④ 読書活動の推進
方針・目標	能代市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするため、子どもの発達段階に応じた取組を推進します。
事業・取組名	読書活動推進事業
目標値	子ども読書活動推進計画における指標である「不読率（1カ月に1冊も本を読まない子どもの割合）の低下」を目指します。 県学習状況調査による不読率を県平均より下回るようにします。
事務事業の実績	「能代市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組を行った。 1 啓発活動 (1) 読書活動推進関係事業の実施 ・図書館見学ツアー（12/27実施 参加者4人） (2) 能代版読書記録ノート「能代っ子家読ノート」の作成・配布 ・小1～4年生用1,550部、小5～中学生用2,150部を作成 ・家読ノート：全小学校児童・中学校生徒へ配布（6月上旬） ・ノートのデータをPDF化し、市のホームページに掲載 ・うちどくポップ大賞の実施（応募者46人） (3) 秋田杉製ブックスタンド作成・配布 ・小学4年生を対象に、秋田杉製ブックスタンドキットを配布（430セット） ・図工の授業で組み立てを行ってもらった。 (4) うちどくDAY（毎月第3日曜日）のポスターを作成し、小中学校及び関係機関へ配布した。 (5) 各学校への働きかけ ・各校の読書活動に関するアンケートを実施し、読書活動の充実へ向けた各校の取組を共有した。 ・学校教育課と市立図書館、生涯学習・スポーツ振興課が連携して「読書活動推進研修会」や「学校図書支援合同研修会」を開催し、各校の図書館担当教諭及び図書支援員の共通理解を図るとともに、読書指導や学校図書館運営に関する力量の向上に努めた。 2 環境整備 (1) 「わたしのおすすめの一冊」図書紹介（広報のしろ掲載 全11回） ・30年度は保育園、幼稚園関係に紹介をお願いし、毎月10日号へ掲載した。 (2) 指定管理者等と連携した図書館の管理運営 ・指定管理者と連携した事業の開催や定期的な打ち合わせを実施することで、図書館の運営・取組実施への連携・協力に努めた。 (3) 学校図書館図書標準達成状況の改善 ・各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた図書整備費を措置した。 ・年間3回、図書標準達成状況調査を行って状況を把握し、校長会、教頭会、各研修会等で改善を図るよう説明した。

	<p>【学校図書標準の達成率】</p> <p>予算の重点配分等により図書状況が安定してきている。小・中学校ともにすべての学校で100%を超えている。</p> <table border="1" data-bbox="459 275 1262 405"> <thead> <tr> <th>学 校</th> <th>30年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校平均</td> <td>122.4%</td> <td>113.3%</td> </tr> <tr> <td>中学校平均</td> <td>112.3%</td> <td>106.4%</td> </tr> </tbody> </table>	学 校	30年度	29年度	小学校平均	122.4%	113.3%	中学校平均	112.3%	106.4%															
学 校	30年度	29年度																							
小学校平均	122.4%	113.3%																							
中学校平均	112.3%	106.4%																							
<p>点検・評価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>不読率について  不読率は、中学1年以外は全て県平均を下回った。</p> <p>【平成30年度県学習状況調査 質問紙結果】</p> <table border="1" data-bbox="451 689 1203 949"> <thead> <tr> <th>学 年</th> <th>能代市</th> <th>県平均</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>2.5%</td> <td>2.9%</td> <td>-0.4P</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>1.1%</td> <td>4.0%</td> <td>-2.9P</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>3.7%</td> <td>4.1%</td> <td>-0.4P</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>9.1%</td> <td>7.1%</td> <td>2.0P</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>3.7%</td> <td>9.7%</td> <td>-6.0P</td> </tr> </tbody> </table>	学 年	能代市	県平均	比較	小学4年	2.5%	2.9%	-0.4P	小学5年	1.1%	4.0%	-2.9P	小学6年	3.7%	4.1%	-0.4P	中学1年	9.1%	7.1%	2.0P	中学2年	3.7%	9.7%	-6.0P
学 年	能代市	県平均	比較																						
小学4年	2.5%	2.9%	-0.4P																						
小学5年	1.1%	4.0%	-2.9P																						
小学6年	3.7%	4.1%	-0.4P																						
中学1年	9.1%	7.1%	2.0P																						
中学2年	3.7%	9.7%	-6.0P																						
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 (                    )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>子ども読書活動推進計画に基づき、学校・家庭・地域の連携を図りながら施策を実施し、啓発活動を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家読ノートの利用が高まるよう、家庭で実践しやすい取組を実施する。</li> <li>・学年が上がるにつれて、読書が身近でなくなる傾向がみられる。特に、不読率が県平均を唯一上回った中学1年生については、学校と協力して重点的に読書推進活動に取り組んでいく。</li> <li>・第1次子ども読書活動推進計画の計画期間が令和元年度までとなっているため、令和2年度からの第2次計画の策定を進めていく。</li> </ul>																								
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○図書館見学ツアーへの参加者数が少ないことから、この点の改善が望まれる。</p> <p>○図書館担当教諭、図書支援員との連携した研修会が行われており、充実・継続を期待したい。学校における図書標準も達成率が高くなっており、よい傾向である。</p> <p>○不読率について、中学1年生の高さが気になる場所である。学校と連携した継続した指導をお願いしたい。</p> <p>□ほとんどの学年で不読率が県平均を下回った。指定管理者や学校、家庭、地域との連携した取組の成果と思う。</p> <p>□能代版読書記録ノート「能代っ子家読ノート」を作成し、全小中学生に配布するという取組はすばらしい。今後は家読ノートがどのように使われているかを把握し、さらなる活用を促してほしい。</p>																								

【 学校教育課 】 【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																				
施策項目	⑤ 食育の推進																				
方針・目標	1 健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 2 食の安全・安心に関する知識の提供に努めます。																				
事業・取組名	1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業																				
目標値	1 毎日、朝食を食べる子どもの割合 100%を目指します。 2 1日1回は家族と一緒に食事をする割合 98%を目指します。 3 学校給食における地場農産物の使用割合を維持します。																				
事務事業の実績	<p>1 学校給食事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食献立表を通して、朝ごはんの効果等の情報提供を行った。(36回)</li> <li>・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関して情報提供を行った。(10回)</li> <li>・「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。</li> <li>・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。(36回)</li> <li>・給食だよりの毎月発行により、家庭への情報提供を行った。(36回)</li> </ul> <p>2 食について理解を深める体験活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食保護者試食会を開催し、食育に関する講話、資料提供を行った。(6回)</li> <li>・放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。(15回、延べ246人)</li> <li>・中央公民館、二ツ井公民館において食に関する講座を開催した。(14回、延べ179人)</li> <li>・給食食育デー(毎月19日)において地場産物を使った献立を提供した。(36回)</li> </ul>																				
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①毎日、朝食を食べる子どもの割合【全国学力・学習状況調査】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>30年度</td> <td>29年度</td> <td>28年度</td> <td>比較</td> </tr> <tr> <td>95.2%</td> <td>97.2%</td> <td>96.4%</td> <td>△2.0ポイント</td> </tr> </table> <p>割合は減少したが、ほとんどの児童生徒が朝食を摂っていて、良好な食生活である。</p> <p>②1日1回は家族と一緒に食事をする割合【H29年度から調査開始】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>30年度</td> <td>29年度</td> <td>比較</td> </tr> <tr> <td>96.7%</td> <td>95.6%</td> <td>1.1ポイント</td> </tr> </table> <p>ほとんどの児童生徒が家族と一緒に食事を摂っていて、良好な食生活の環境になっている。</p> <p>③学校給食における地場農産物の使用割合【学校給食物資使用調査】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>29年度</td> <td>28年度</td> <td>比較</td> </tr> <tr> <td>31.2%</td> <td>36.3%</td> <td>△5.1ポイント</td> </tr> </table> <p>天候不良により地場産によるものが確保できなかったことにより、使用割合が減少した。</p>	30年度	29年度	28年度	比較	95.2%	97.2%	96.4%	△2.0ポイント	30年度	29年度	比較	96.7%	95.6%	1.1ポイント	29年度	28年度	比較	31.2%	36.3%	△5.1ポイント
30年度	29年度	28年度	比較																		
95.2%	97.2%	96.4%	△2.0ポイント																		
30年度	29年度	比較																			
96.7%	95.6%	1.1ポイント																			
29年度	28年度	比較																			
31.2%	36.3%	△5.1ポイント																			
課題及び	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他( )																				

<p>今後の取組の方向性</p>	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①毎日、朝食を食べる子どもの割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭による栄養指導等、朝食の大切さや栄養のバランス等について学ぶ機会を設定する。</li> <li>・保護者へのレシピ配付や親子で参加する教室の開催、給食試食会での栄養士の講話など、家庭で話題にできる講座の実施を推進していく。</li> </ul> <p>②1日1回は家族と一緒に食事をする割合</p> <p>給食だより等を活用して保護者に周知し啓蒙を図る。</p> <p>③学校給食における地場農産物の使用割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産野菜は安定した量が確保できないため、栄養士と情報を共有しながら、地場産野菜の収穫時期に合わせた献立により使用率拡大に努めていく。</li> <li>・JAや産地直売所、農業振興課からの情報を得ながら、どのような連携ができるか検討していく。</li> </ul>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○朝食を食べない子どもや、一日一回も家族と一緒に食事をしていない子どもが20人に1人ほどいることから、学校と連携した取り組み、保護者への働きかけを期待したい。</p> <p>□栄養教諭による食事と健康に関する食育授業を行ったり、給食だよりを毎月発行したりして、健康的でバランスのとれた食事の重要性を呼びかけている。</p> <p>□毎日朝食を食べる子どもの割合や、1日1回は家族と一緒に食事をする割合が目標値には達しなかったものの、おおむね良好と言える。今後とも家庭(家族)で食事を摂ることの大切さについて周知を図ってほしい。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進												
施策項目	① 主体的で創意ある教育活動の推進												
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。												
事業・取組名	1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実												
目標値	1 学校関係者評価を実施し、すべての学校でその結果を公表します。 2 小学生ふるさと学習交流会や中学生ふるさと会議を開催し、郷土に対する愛情や誇りを高めるとともに、能代市民としての自覚と社会性を養います。												
事務事業の実績	1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 「あきた型学校評価システム」により、学校関係者評価を実施し、市内16校すべての小・中学校でその結果を公表することで、学校・家庭・地域が相互に連携することの重要性を指導した。 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ①10月に小学5年で「小学生ふるさと学習交流会」を開催した。 ②11月に中学2年全員で「能代っ子中学生ふるさと会議」を開催した。 ③人々とのかかわりから学ぶ体験活動の推進 ・前年度末から年度初めにかけて学校支援ボランティアを募集し、各校で学校支援ボランティアを活用した体験活動を行った。												
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  [説明] 1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 「あきた型学校評価システム」により、学校関係者評価を実施し、すべての小・中学校でその結果を公表し、学校・家庭・地域の一層の連携を図った。 2. ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ①小学生ふるさと学習交流会の参観者の感想 ・代表校の発表はもちろんのこと、各校とも詳細に学びを深めていると感じた。また、調査の中では地域の方々と連携し学習しているところもあり、改めて地域コミュニティの拠点としての学校の存在意義を確認した。 ②中学生ふるさと会議の中学校指導者の感想 ・2年生が一堂に会しての参加は、大変有意義であったと思う。他校の生徒の発表内容や堂々と意見を述べる姿に感心した生徒が多く、よい刺激になった。 ・職場体験を通して学んだことから、「将来自分はどう生きたいのか」を一人一人が考えるよい機会となったし、いろいろな考えに触れることができたと思う。 ③秋田県学習状況調査質問紙の結果より 【地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う】 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>県比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>96.7%</td> <td>+3.7p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>95.2%</td> <td>+3.8p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>96.5%</td> <td>+5.1p</td> </tr> </tbody> </table>	学年	能代市	県比較	小学4年	96.7%	+3.7p	小学5年	95.2%	+3.8p	小学6年	96.5%	+5.1p
学年	能代市	県比較											
小学4年	96.7%	+3.7p											
小学5年	95.2%	+3.8p											
小学6年	96.5%	+5.1p											

		中学1年	91.5%	+0.8p
		中学2年	93.4%	+4.6p
課題及び 今後の取組の 方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（                    ） [具体的な課題及び取組] 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ・小学生ふるさと学習交流会、能代っ子中学生ふるさと会議を開催するとともに、対象校におけるコミュニティ・スクールや起業体験推進事業の取組を推進する。 ・中学生ふるさと会議は、これまでのパネルディスカッションから参加生徒全員による議会形式として開催する。			
学識経験者 の意見	<input type="checkbox"/> 学校評価が学校の改善につながるよう、活用のあり方についても検証を加えていただきたい。 <input type="checkbox"/> 小学生ふるさと学習交流会、中学生ふるさと会議は有意義な取り組みとなっており、充実発展に努めていただきたい。 <input type="checkbox"/> 各学校は学校関係者評価や保護者アンケート等で寄せられた意見や提言が、その後の学校経営にどのような形で反映されているかについて、きちんと説明してほしい。改善状況が見えることによって、評価者の評価意欲が高まるものとする。 <input type="checkbox"/> 小学生ふるさと学習交流会、能代っ子中学生ふるさと会議は素晴らしい取組であるが、学校統合にともなって学校数が減少したことにより、発表校のローテーションが早まり、準備等に係る学校の負担が増幅するのではないかと懸念するものである。会の内容等に関し検討が必要ではないか。			

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導
方針・目標	いじめや不登校等のの問題について、未然防止や早期発見等、適切な対応に努めます。
事業・取組名	自己実現を支える生徒指導
目標値	不登校の1,000人当たりの出現率を県平均以下にします。
事業の 実績	<p>自己実現を支える生徒指導</p> <p>① 心の教室相談員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校12校中5校に5名（兼務なし）、中学校7校中全校に5名（2名が2校ずつ兼務）配置</li> <li>・1年間に心の教室を訪れた人数（延べ人数） 13,294人、相談件数709件</li> </ul> <p>② スクールカウンセラーの配置（県委託）</p> <p>（中学校：7校中6校に4人（兼務あり）配置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間でSCを利用した人数（延べ人数） 485人</li> </ul> <p>③ 適応指導教室「はまなす広場」の設置（不登校児童生徒への個別指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通級者4人 週に1回～数回の登校等、回復傾向の見られた生徒3人</li> <li>・登校に向けて風の子電話との連携を強化</li> </ul> <p>④ 風の子電話」の設置（電話や来所による教育相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間相談件数 電話7件、来所47件（不登校32件、生活習慣・態度1件、いじめや交友関係3件、その他（進路や転学等）8件）</li> <li>・学校や教育研究所、適応指導教室、他機関との連携</li> </ul> <p>⑤ 不登校保護者会の開催（不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3木曜日19:00～21:00</li> <li>・12回開催、保護者延べ49人参加。1人の生徒の改善（回復傾向）へ関わる。</li> </ul> <p>⑥ 児童生徒支援アドバイザーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～6月に全小・中学校を訪問して「不登校・いじめ防止研修会」を、各校を会場に職員悉皆研修として実施し、児童生徒の実態把握といじめ・不登校対策への指導助言</li> <li>・「風の子電話」に寄せられた相談を把握するとともに、各学校における問題等に応じてすぐに学校を訪問し、連携して対策を考えた。</li> </ul> <p>⑦ 各小・中学校への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策事業についてのリーフレット等の保護者への配付と市ホームページへの掲載</li> <li>・各校におけるいじめ・不登校の現状や支援を要する児童生徒についての月例報告とそれに対する指導助言</li> <li>・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼びかけ</li> <li>・楽しい学校生活を送るための調査（Q-U検査）の実施（小学校5・6年、中学校1・2年、年2回）と、分析に基づいた指導助言。中学校1年生はよりきめ細かな分析ができるhyper-QUを実施。</li> </ul>



点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  [説明] 自己実現を支える生徒指導 ・いじめは、小学校415件、中学校19件が報告された（H29 小146件、中50件）。認知件数の増加は、「いじめ防止対策推進法」によって広義となったいじめの定義が各校で周知され、いじめを積極的に認知した結果である。いじめの積極的な認知が早期発見、即時対応、早期解決につながると考える。 ・不登校の出現率は11.2人（1000人当たり）である。国の14.7人、県の10.8人（H29）を下回った。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（      ）  [具体的な課題及び取組] 自己実現を支える生徒指導 ・「いじめ問題対策連絡協議会」を開催して本市のいじめ問題の現状を把握し、学校・家庭・地域その他関係者が連携を図って対応する。また自己有用感を高め、すべての児童生徒の安全・安心な学校生活へ向けて、各校のいじめ防止基本方針の学校・家庭・地域での共有を推進し、「いじめは絶対に許さない。」という学校風土をつくる。
学識経験者の意見	<input type="checkbox"/> いじめや不登校などに対する対策が様々に行われており評価できる。今後とも継続して取り組んでいただきたい。いじめの認知件数の増加は、それだけ目が行き届くようになっており、隠れたり隠すようなことが少なくなっている証左でもある。同時に、認知したいじめに対する早期の効果的な取り組みを今後とも期待したい。 <input type="checkbox"/> いじめや不登校、問題行動等の対応にあたっては、生徒指導主事や当該児童生徒の担当学年主任・学級担任だけでなく、全教職員で共通認識のもとにかかわってほしい。 <input type="checkbox"/> 学校行事等における体験活動を重視した取組や課題解決の場が準備された授業実践を通して児童生徒の自己肯定感や自己有用感が高まるものと思う。今後とも児童生徒が主体的に活動できる場を多くし、自分のよさに気づき、自信をもって生活できるようにしてほしい。

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進																																																																																																		
施策項目	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導																																																																																																		
方針・目標	生き方を探求し自立を促す指導、健やかな心と体の育成、命の教育や防災教育等を推進します。																																																																																																		
事業・取組名	健やかな心と体の育成																																																																																																		
目標値	すべての学年において体力合計点を県平均以上にします。																																																																																																		
事業の 実績	健やかな心と体の育成 新体力テストの実施と分析 実施後の結果を基に分析を行い、市教委訪問で各校の課題を確認し助言した。																																																																																																		
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  [説明] 健やかな心と体の育成 ・すべての学年、男女で県平均を上回っている。 【平成30年度新体力テストの体力合計点平均の比較】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小1</th> <th colspan="2">小2</th> <th colspan="2">小3</th> <th colspan="2">小4</th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">小6</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>32.23</td> <td>32.75</td> <td>39.33</td> <td>40.75</td> <td>45.66</td> <td>47.51</td> <td>51.83</td> <td>54.20</td> <td>57.50</td> <td>59.77</td> <td>63.04</td> <td>64.25</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>34.25</td> <td>34.24</td> <td>40.20</td> <td>42.26</td> <td>45.97</td> <td>50.49</td> <td>53.20</td> <td>56.86</td> <td>59.08</td> <td>60.56</td> <td>63.84</td> <td>66.12</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>2.02</td> <td>1.49</td> <td>0.87</td> <td>1.51</td> <td>0.31</td> <td>2.98</td> <td>1.37</td> <td>2.66</td> <td>1.58</td> <td>0.79</td> <td>0.80</td> <td>1.87</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中1</th> <th colspan="2">中2</th> <th colspan="2">中3</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>36.25</td> <td>48.04</td> <td>45.56</td> <td>52.38</td> <td>50.91</td> <td>54.08</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>38.51</td> <td>50.78</td> <td>49.34</td> <td>56.40</td> <td>52.89</td> <td>58.14</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>2.26</td> <td>2.74</td> <td>3.78</td> <td>4.02</td> <td>1.98</td> <td>4.06</td> </tr> </tbody> </table> 【テスト項目】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール（ハンドボール）投げ、持久走（中学生のみ）		小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	32.23	32.75	39.33	40.75	45.66	47.51	51.83	54.20	57.50	59.77	63.04	64.25	能代市	34.25	34.24	40.20	42.26	45.97	50.49	53.20	56.86	59.08	60.56	63.84	66.12	比較	2.02	1.49	0.87	1.51	0.31	2.98	1.37	2.66	1.58	0.79	0.80	1.87		中1		中2		中3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	36.25	48.04	45.56	52.38	50.91	54.08	能代市	38.51	50.78	49.34	56.40	52.89	58.14	比較	2.26	2.74	3.78	4.02	1.98	4.06
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																																								
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																							
秋田県	32.23	32.75	39.33	40.75	45.66	47.51	51.83	54.20	57.50	59.77	63.04	64.25																																																																																							
能代市	34.25	34.24	40.20	42.26	45.97	50.49	53.20	56.86	59.08	60.56	63.84	66.12																																																																																							
比較	2.02	1.49	0.87	1.51	0.31	2.98	1.37	2.66	1.58	0.79	0.80	1.87																																																																																							
	中1		中2		中3																																																																																														
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																													
秋田県	36.25	48.04	45.56	52.38	50.91	54.08																																																																																													
能代市	38.51	50.78	49.34	56.40	52.89	58.14																																																																																													
比較	2.26	2.74	3.78	4.02	1.98	4.06																																																																																													
課題及び 今後の取組の 方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（                      ） [具体的な課題及び取組] 健やかな心と体の育成 ・各校において新体力テストの結果を分析し、体育の授業を中心に、高めたい運動特性につながる運動を積極的に取り入れるよう指導する。																																																																																																		
学識経験者 の意見	<input checked="" type="checkbox"/> 新体力テストの結果は良好なものであり、今後ともこの状態が維持されるよう取り組んでいただきたい。 <input type="checkbox"/> すべての学年において体力合計点が県平均を上回った。各学校ではテスト項目ごとの状況を分析し、より一層の体力づくりに努めてほしい。																																																																																																		

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	③ 基礎学力の向上を図る学習指導
方針・目標	児童生徒の基礎学力の確実な定着と向上を図るとともに、主体的・対話的な深い学びの実現を目指します。
事業・取組名	1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 評価を生かした授業改善 4 ねらいに即したICTの効果的な活用
目標値	1 「学校がある日の勉強時間」（1時間以上勉強している児童生徒の割合）が県平均を上回るようにします。 2 学習意欲に関する肯定的評価が小学生で80%以上、中学生で60%以上、児童生徒同士の学び合いに関する評価が、小・中学校とも90%以上を目指します。 3 学校訪問等で参観した主体的・対話的で深い学びの授業事例を教育情報紙で全ての小・中学校から1つ以上紹介します。 4 ICTの効果的な活用を推進します。
事務事業の実績	1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、学校訪問等での情報交換及び指導助言等を実施した。 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 ①県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の促進を図った。 ②研修機会（中堅教員研修会、講師等研修会、理科学力向上研修会、研究主任会等）の提供と各校の情報共有を行った。 ・中堅教員研修会では、研究主題を「学びを深めるための話し合い活動の在り方について」として研究を行い、教師としての力量を高めた。 ・能代市山本郡の講師を対象に、講師等研修会を開催し、「秋田の探究型授業」のポイント等について指導助言した。 ・全小学校の理科担当者を対象に「理科学力向上研修会」を開催し、理科の学力向上へ向けた授業づくりのポイント等を指導助言した。 3 評価を生かした授業改善 ・学校訪問（所長訪問随同行、市教委訪問、要請訪問）において、授業改善について指導助言した。 ・市教委訪問では、児童生徒の主体性を促すための課題設定や、話し合い活動の在り方について代案や事例を示し、具体的に指導助言した。 ・児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実践事例について教育情報紙「ふいご」に掲載し、実践の共有化を図った。 4 ねらいに即したICTの効果的な活用 各種訪問等で参観した授業から、情報器機や電子黒板等の効果的な活用事例について教育情報紙「ふいご」に掲載するなどして共有化を図った。
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る

1 基本的な学習習慣の確立

【学校がある日の勉強時間（1時間以上勉強している児童生徒の割合）】

・中1、中2は県平均を下回る結果であった。

学 年	能代市	県との比較
小学4年	42.1%	+ 6.1p
小学5年	53.4%	+ 1.4p
小学6年	67.1%	+ 2.9p
中学1年	64.6%	- 6.0p
中学2年	61.8%	- 4.7p

2 子どもが主体的に取り組める学習指導

①学習意欲は「勉強が好きだ」の割合

・すべての学年で目標値を上回った。授業へ意欲的に取り組んでいることが分かる。

学 年	能代市	目標値との比較	県との比較
小学4年	88.5%	+ 8.5p	+ 3.8p
小学5年	88.3%	+ 8.3p	+ 8.6p
小学6年	85.0%	+ 5.0p	+ 7.0p
中学1年	73.6%	+13.6p	+ 8.8p
中学2年	66.0%	+ 6.0p	+11.6p

②「ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」の割合

・すべての学年で目標値を上回った。授業者が子ども主体の授業を構築しようとしていることが伺える。

学 年	能代市	目標値との比較	県との比較
小学4年	96.4%	+ 6.4p	+ 7.9p
小学5年	96.6%	+ 6.6p	+ 8.2p
小学6年	99.8%	+ 9.8p	+ 4.2p
中学1年	97.2%	+ 7.2p	+ 1.2p
中学2年	98.7%	+ 8.7p	+ 2.5p

3 評価を生かした授業改善

次の授業例等を各小・中学校から1つ以上授業紹介した。

例①竹生小（国語）：友達の考えを聞き、それを受け止めた上で自分の考えを述べることができていた。子ども同士の対話で深い学びにつながっていく授業であった。教材の準備、板書構成、付箋の活用など、子どもたちが主体的に活動するための様々な手立てがあった。

例②常盤中（英語）：生徒の表情が真剣で生き生きとしており、英語に自信をもち英語によるコミュニケーションに積極的な姿が見られた。自分の伝えたいことを英語で表現したいという意欲を高めるとともに、互いの思いや考えを共有し、共感できるという学びの充実感を引き出していた。学習のゴールとなる例文や発表の視点の提示など、生徒の実態を踏まえた効果的な手立てが多く見られた。

	<p>4 ねらいに即したICTの効果的な活用  実践例・社会科で電子黒板を活用し、ペン機能を使いながらグラフの変化を捉えさせる。画面は保存し、次時の導入で活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科で作図方法を書画カメラで提示する。</li> <li>・理科でインターネットを使って授業時現在の天気図をスクリーンに提示し、この後の天候の変化を考えさせる。</li> </ul>
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（                    ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 基本的な学習習慣の確立については、小・中連携による継続的、系統的な学び方指導、家庭への啓発等を引き続き各学校に指導する。</p> <p>4 隔年で開催している情報教育研修会において、ICTの活用状況及び活用の成果と課題等について情報交換し、授業における活用の促進を図る。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○基本的な学習習慣の面では、中1、中2の勉強時間について、その理由と対策など検証をお願いしたい。学習意欲では、中1、中2とも高くなっており、その落差が気になるところである。学習指導や授業改善については意欲的に取り組まれており、継続を期待したい。</p> <p>□学級集団の小規模化が進み、集団での「主体的な学習」とはどのようなものかを理解していない児童生徒がいるのではないか。年度当初等のタイミングで、教職員が自校の児童生徒に期待する「主体的な学習」の模擬授業を提示するなどして可視化を図ってはどうか。</p> <p>□授業改善に向けて中堅教員研修会、理科学力向上研修会、研究主任会、講師研修会等が計画的に設定されている。今後はテーマを絞り参加者が知りたいと思っていることに応えられるような研修内容を探してほしい。</p> <p>□指導力の維持・継承に向けた取組の一環として、退職教職員の実践に学ぶ機会をこれまで以上に多くしてはどうか。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進																		
施策項目	④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修																		
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。																		
事業・取組名	1 学力向上のための研修 2 安全・安心な学校づくりのための研修 3 学びをより豊にするための研修																		
目標値	各研修会参加者の肯定的評価が、4段階評価で3.6以上となるようにします。																		
事務事業の実績	<p>①職務別研修を実施した。</p> <p>ア 教務主任・研究主任の合同研修会（7月） ミドルリーダーとして期待されることについての講義、情報交換</p> <p>イ 特別支援教育担任等研修会（8月） 秋田大学准教授等を講師とした講義、情報交換</p> <p>ウ ミドルリーダーを対象に教員研修（8月） 豊島区への教員派遣</p> <p>②職経験者研修を実施した。</p> <p>ア 初任者研修（5、8月） 1回目：教育懇談（教育長講話、課長・指導主事による講義） 2回目：郷土研修（能代市の産業、自然、文化、施設）</p> <p>イ 講師等研修（8月） ・集団協議「授業の振り返り」「生徒指導の三機能を働かせた学級経営」</p> <p>③テーマ別研修を実施した。</p> <p>ア 読書活動推進研修会（5月）</p> <p>イ 幼保小連携推進協議会（5月）</p> <p>ウ 算数・数学学力向上研修会（5月）</p> <p>エ 情報モラル・ネットトラブル研修会（8月）</p> <p>オ 情報教育研修会（11月）</p> <p>カ 東京都豊島区との教育連携を生かした研修（6月、11月）</p>																		
点検・評価	<p>■目標を上回る      □ほぼ目標どおり      □目標をやや下回る</p> <p>□目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>・それぞれの研修会で4段階の事後アンケートを実施したところ、参加者から内容が実践的で分かりやすかったなどの評価を得ている。</p> <table border="0"> <tr> <td>合同研修会(教務・研究) 1回目</td> <td>実践 3.9</td> <td>内容 3.4</td> </tr> <tr> <td>中堅教員研修会(協議) 1回目</td> <td>実践 3.9</td> <td>内容 3.7</td> </tr> <tr> <td>中堅教員研修会(協議) 2回目</td> <td>実践 3.9</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育研修会(秋大連携)</td> <td>実践 3.7</td> <td>内容 3.7</td> </tr> <tr> <td>講師等研修</td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 4.0</td> </tr> <tr> <td>読書活動推進研修会</td> <td>実践 3.5</td> <td>内容 3.6</td> </tr> </table> <p>・秋田大学と連携した特別支援教育担任等研修会、秋田県立図書館と連携した読書活動推進研修会、秋田県教育庁高校教育課と連携した外国語活動授業研修会、秋田県教育委員会生涯学習課と連携した情報モラル・ネットトラブル研修会等を企画・運営し、学校や市の課題、新学習指導要領への移行等に応じた研修会を提供することができた。</p>	合同研修会(教務・研究) 1回目	実践 3.9	内容 3.4	中堅教員研修会(協議) 1回目	実践 3.9	内容 3.7	中堅教員研修会(協議) 2回目	実践 3.9	内容 3.9	特別支援教育研修会(秋大連携)	実践 3.7	内容 3.7	講師等研修	実践 4.0	内容 4.0	読書活動推進研修会	実践 3.5	内容 3.6
合同研修会(教務・研究) 1回目	実践 3.9	内容 3.4																	
中堅教員研修会(協議) 1回目	実践 3.9	内容 3.7																	
中堅教員研修会(協議) 2回目	実践 3.9	内容 3.9																	
特別支援教育研修会(秋大連携)	実践 3.7	内容 3.7																	
講師等研修	実践 4.0	内容 4.0																	
読書活動推進研修会	実践 3.5	内容 3.6																	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領への対応として、外国語活動や道徳の教科化についての研修会を提供し、各校の取組に生かすことができた。</li> <li>・中堅教員に対しミドルリーダーとしての自覚を促し、実践知の継承を意図的に行うことについて、各校に問題提起をすることができた。</li> </ul>
<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 廃止検討    <input type="checkbox"/> その他 (                    )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>① ミドルリーダーを育成する研修の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区との連携事業の充実によりミドルリーダーの意識の向上</li> <li>・教務主任・研究主任合同研修会の内容充実</li> </ul> <p>② 教科の指導力向上に関する研修の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修、講師等研修における具体的な指導方法の提示</li> </ul> <p>③ 生徒指導の機能を指導に生かすための研修の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の管理職による悉皆研修とした「不登校・いじめ防止研修会」の実施</li> <li>・心の教室相談員による研修会の実施</li> </ul> <p>④ 算数・数学教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育専門監による授業提示</li> <li>・小・中の継続性を意識した講義・協議</li> </ul> <p>⑤ 特別支援教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田大学との連携による研修会の実施</li> </ul> <p>⑥ プログラミング教育に関する研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度、31年度の2年間で、全小学校を訪問して開催</li> </ul> <p>⑦ 教育連携を生かした研修を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都豊島区</li> </ul>
<p>学識経験者の 意見</p>	<p>○必要な研修が適切かつ効果的に行われている。引き続き、受講者にとって意味のある研修を、校内研修と結びつける形で実施していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 職務別研修、教職経験者研修、テーマ別研修が秋田大学や秋田県立図書館等と連携しながら計画的・継続的に実施されている。今後とも参加者が主体的に取り組めるような研修内容や研修形態を準備してほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 各種研修会への参加者が事前に研修内容をきちんと把握し、研修テーマについて自分なりの考えや思いをもって参加できるようなしくみを構築することが必要と思う。受身の姿勢での参加だけは避けてほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 新学習指導要領への対応として、外国語活動や道徳の教科化についての実践的な研修の場を、今後とも提供してほしい。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備
方針・目標	<p>1 子どもたちの安全を守るための能力の育成や学校安全の徹底を推進します。</p> <p>2 学校施設・設備の計画的な整備や小規模小学校の在り方の検討などに取り組みます。</p> <p>3 経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくりまします。</p>
事業・取組名	<p>1 学校安全の推進</p> <p>2 防災教育の推進</p> <p>3 小規模小学校の在り方についての検討</p> <p>4 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進</p>
目標値	<p>1 学校生活における児童生徒の事故発生ゼロを目指します。</p> <p>2 すべての学校で、地域や家庭と連携した防災訓練を実施します。</p> <p>3 小規模小学校の在り方については、地域との合意形成を図ることができるよう慎重に進めます。</p> <p>4 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業については、関係機関等と連携し周知を徹底するとともに、制度の見直しを進め利用促進を図ります。</p>
事務事業の実績	<p>1 学校安全の推進</p> <p>①教育活動における安全指導 学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。</p> <p>②各学校の実態に応じた安全点検等の実施 ・関係機関と連携して通学路点検と協議を行い、通学路の改善を図った。 ・スクールガード・リーダー養成研修会を開催し、研修を深めた。</p> <p>③学校給食における食の安全の取組 ・食育デー（毎月 19 日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。 ・アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。 ・異物等が給食に入り込まないように、衛生管理面の徹底に努めた。</p> <p>2 防災教育の推進</p> <p>①県民防災意識高揚強調週間」における避難訓練・防災訓練の実施の呼びかけ 学校・家庭・地域が一丸となった避難訓練や防災訓練の取組、地域防災委員会の開催を促した。</p> <p>②「防災リーフレット」による学校・家庭への啓発 児童生徒、各家庭に「防災リーフレット」を配付して、各校での防災学習における活用への呼びかけと家庭での啓発を図った。</p> <p>3 小規模小学校の在り方についての検討</p> <p>①閉校記念式典の開催 ・鶴形小学校（平成 30 年 10 月 10 日（日）参加者 171 名） ・崇徳小学校（平成 30 年 10 月 28 日（日）参加者 204 名） ・常盤中学校（平成 30 年 11 月 3 日（土）参加者 167 名） 各校において、厳粛で清らかな閉校式典を開催した。</p> <p>②統合に向けた準備 ・令和元年度に閉校する、朴瀬小学校、竹生小学校、常盤小学校の児童の交流やスクールバスの運行等について準備を進める。</p>



	<p>4 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進</p> <p>①就学援助…31年3月末で要保護 53 人、準要保護 707 人、認定割合は 23.1%で、県内でも高い水準となっている。</p> <p>②能代市奨学金貸付事業…採用者 30年度 4 人 (29年度 6 人) ・制度の見直しを行い、対象に大学院生を追加するとともに、募集及び採用決定時期を早めた。</p> <p>③ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業…採用者 30年度 13 人 (29年度 19 人) ・制度の見直しを行い、これまでの月額貸与に代わり、令和元年度から入学一時金の貸与とするとともに、募集及び採用決定時期を早めた。 ・償還時に能代市又は山本郡内に居住している場合、償還金の全額を免除することとした。</p> <p>④奨学金返還助成事業…助成者数 30年度 3 人 (能代市内に住所がある秋田県奨学金返還助成の助成対象者数 46 人)</p>
<p>点検・評価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>1 学校安全の推進 関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童生徒の安全面を考慮した改善を進めることができた。(平成 30 年度：各校からの点検・改善要望 29 箇所。対策済み 24 箇所、対策予定 1 箇所、対策検討・未定 4 箇所)</p> <p>2 防災教育の推進 ・県民防災意識高揚強調週間の期間中、市内の小・中学校 19 校のすべてが地震・津波を想定した避難訓練を実施した。 ・保護者・地域住民と連携しながら避難訓練を実施した学校は 11 校、地域防災委員会は 14 校で実施した。 ・北朝鮮弾道ミサイル発射を想定した避難訓練を小学校 12 校中 9 校、中学校 7 校全てで実施した。</p> <p>3 小規模小学校の在り方についての検討 子どもたちの教育環境を最優先に円滑な統合に向けて、地域懇談会のほか、PTA 役員や校長との話し合いも設定して丁寧に進めたことにより、32 年度までに 6 校の統合が決定した。統合準備委員会の開催など、統合に向けた具体的な準備も進めることができた。</p> <p>4 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進</p> <p>①就学援助…制度の周知が図られていることなどから認定割合は 22%前後で推移している。</p> <p>②能代市奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業…募集・採用決定時期の変更や入学一時金の貸与など、利用しやすくするため制度の見直しを行った。</p> <p>③奨学金返還助成事業…関係機関等と連携して周知を図ることで、助成対象者が増加している。</p>
<p>課題及び</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 (                      )</p>

<p>今後の取組の 方 向 性</p>	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校安全の推進 学校、地域、保護者、関係機関との連携を密にし、多くの目で児童生徒を見守る体制づくりを推進し、事故防止に努めていく。</li> <li>2 防災教育の推進 防災マニュアルを活用し、取組のPDCAサイクルによって防災教育を推進していくよう各校に周知していく。また、地域防災委員会の働きを生かし、地域の実態把握を行いながら防災計画を見直していくよう働きかける。</li> <li>3 小規模小学校の在り方についての検討 統合準備委員会を開催し、閉校記念式典の開催、スクールバスの運行、児童生徒交流など、具体的な話し合いを進めていく。</li> <li>4 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進 関係機関と連携し、引き続き利用促進に向けて取り組む。</li> </ol>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○地域、家庭、学校が連携した防災訓練の実施、地域防災委員会の開催などはとてもよいことであり、継続して取り組んでいただきたい。子どもが巻き込まれる事故、事件も全国的に見られることから、安全には十分な配慮をお願いしたい。</p> <p>○統廃合については子どもたちも含めて、関係者の合意のもとに、円滑な移行実施を期待したい。</p> <p>□関係機関と合同で通学路の安全点検を実施し、各学校からの改善要望のほとんどの箇所に対策が講じられるなど、学校安全の推進が図られている。学校統合に伴うスクールバスの運行も児童生徒の安全を守るうえで有効である。</p> <p>□学校の統廃合が地域住民や保護者の合意を得て予定どおり行われた。今後は統廃合の対象児童生徒が、新しい環境のもと充実した学校生活を送れるよう、地域や学校と連携しながら見守ってほしい。あわせて来年度の統合に向けても計画的に進めてほしい。</p> <p>□奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業については、広報やホームページ等を活用し趣旨の周知に努めてほしい。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備
方針・目標	学校施設・設備の計画的な整備に取り組みます。
事業・取組名	1 学校施設の耐震化の推進 2 学校施設の老朽化対策等の推進
目標値	1 耐震改修工事は、30年度までにすべての学校で実施します。 2 老朽化対策については、能代市公共施設等総合管理計画を踏まえた整備計画を策定し、順次実施することとしますが、安全・安心に重大な影響が見込まれるものについては、早期対応を図ります。
事務事業の実績	1 学校施設の耐震化の推進 非構造部材耐震改修工事（体育館・吊天井、照明器具） …浅内小（29年度補正、30年度へ繰越） 2 学校施設の老朽化対策等の推進 ①計画的な整備 第五小（校舎）の外壁補修、淳城南小（体育館）の改修等、築年数を基準とした整備の方向性に基づき改修を実施した。 ②整備計画の策定 学校、社会教育・スポーツ施設等の教育部所管施設について、「教育施設等長寿命化計画」策定に着手した。 ③常時の調査・点検等 建築士による定期調査、法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先順位を定めて対応した。 ③教育環境の向上 ・洋式トイレが不足している9校のうち、淳城西小、能代東中の2校の改修工事（Ⅰ期）を行った。国の追加補正でそれぞれⅡ期工事が採択されたことにより3月補正で予算措置した。※Ⅱ期工事の実施はH31予定
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] 1 学校施設の耐震化の推進 統合による閉校・閉校予定校を除き、30年度で完了した。 2 学校施設の老朽化対策等の推進 ・30年度当初予算に、長寿命化計画の策定について予算措置し、30年に着手し、31年度までの2ヵ年で計画を策定することとしている。 ・各種の法定点検や調査結果等に基づき、緊急を要するものについては概ね必要な整備を行うことができた。 ・淳城西小、能代東中のトイレ改修工事Ⅰ期を実施できた。 ・淳城西小、能代東中のトイレ改修工事Ⅱ期の予算措置ができた。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（      ） [具体的な課題及び取組] 1 学校施設の老朽化対策等の推進 大規模な改修時期を迎える校舎等については、財源の確保が課題となる。 2 学校施設の環境改善の推進 ・淳城西小、能代東中のトイレ改修工事Ⅱ期を実施する。学校施設環境改善交

	<p>付金の内定により向能代小トイレ改修工事を実施する。未実施校の能代一中、能代南中、二ツ井中については、国の財源があるうちに工事に取りかかるよう、実施設計を行い準備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校各教室にエアコンを設置する計画を作成する。</li> </ul>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○耐震化が完了したことは非常によいことである。財政難の折ではあるが、学校施設の老朽化対策、環境改善に引き続き計画的に取り組んでいただきたい。</p> <p>□学校施設の耐震化に係る改修工事がすべて終了したことを嬉しく思う。今後は洋式トイレと普通教室へのエアコンの設置に向け、順次検討願いたい。</p> <p>□閉校に伴い使用しなくなった学校施設の利活用については、地域住民等の声を聞きながら所管課と連携し、できるだけ早期に結論を見出してほしい。</p> <p>□閉校に伴い当面は使用されなくなった（なる）校舎の傷みを最小限に食い止めるために、定期的に校舎内を点検したり掃除したりする取組が必要であり、対策を講じてほしい。</p>

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進												
施策項目	① 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進												
方針・目標	市民の学習意欲を高められるよう学習環境の整備とともに、学びの成果を地域に生かすことができるよう生涯学習諸施策の充実を図ります。												
事業・取組名	生涯学習推進事業												
目標値	出前講座の利用件数を過去3年間の平均と同等を目指します。												
事務事業の実績	<p>1 生涯学習推進体制</p> <p>(1) 生涯学習推進本部（本部長－市長、本部員－部長等）</p> <p>(2) 生涯学習推進協議会（12人）</p> <p>(3) 生涯学習奨励員（26人）</p> <p>(4) 社会教育指導員（1人）</p> <p>2 情報提供</p> <p>(1) 生涯学習関連事業の作成（生涯学習推進協議会委員等へ配布）</p> <p>(2) 広報のしろへの「生涯学習のしろ」掲載（年2回）</p> <p>(3) ホームページによる情報提供（随時）</p> <p>(4) 地元新聞による情報提供</p> <p>3 学習環境の整備 ※（ ）は29年度実績</p> <table border="0"> <tr> <td>出前講座</td> <td>講座件数</td> <td>73件</td> <td>（ 72件）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>122団体</td> <td>（ 94団体）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>受講者延べ</td> <td>3,604人</td> <td>（3,811人）</td> </tr> </table> <p>4 人材の活用・育成</p> <p>(1) 生涯学習奨励員の活動促進</p> <p>ア 放課後子ども教室での講師（おかしづくり、絵手紙指導等）</p> <p>イ マナブッ市での交流（工作、手芸等）</p> <p>ウ 生涯学習のつどい（工作、料理等）※奨励員自主事業</p>	出前講座	講座件数	73件	（ 72件）		利用件数	122団体	（ 94団体）		受講者延べ	3,604人	（3,811人）
出前講座	講座件数	73件	（ 72件）										
	利用件数	122団体	（ 94団体）										
	受講者延べ	3,604人	（3,811人）										
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①出前講座利用件数 122 団体 →<u>過去3年間の平均値 105 団体</u>（H29：94 団体、H28：104 団体、H27：117 団体）</p> <p>②市民意識調査「学んだ知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合」 →12.7%（H29：19.8%、H28：15.8%、H27：16.3%）</p> <p>③第3次能代市社会教育振興中期計画に基づく実施事業数 →86 項目（H29 90 項目：第2次能代市社会教育振興中期計画）</p> <p>④生涯学習ボランティア登録者数 →53 人（H29 55 人）</p> <p>⑤生涯学習奨励員による自主事業として、小学生を対象とした生涯学習のつどいが開催され、工作や簡単な料理づくりを通し異世代交流が図られた。</p> <p>⑥連合婦人会による小中学生を対象とした踊りの伝承が行われ、少子高齢化が進む中、双方にとってよい効果をもたらしている。</p>												



基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進					
施策項目	② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実					
方針・目標	現代的課題やニーズに応じた講座等を開催するとともに、参加しやすい環境を整えます。					
事業・取組名	公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業					
目標値	講座数及び参加者数の過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ります。					
事務事業の実績	1 中央公民館・地区公民館等開設講座・事業数					
		年度	講座数	回数	参加者数	対人口比 (各年3.31現在)
		H30	39講座	247回	11,208人	20.8%
		H29	36講座	266回	10,791人	19.7%
		H28	35講座	278回	12,692人	22.8%
		H27	35講座	189回	10,742人	19.1%
		H27～29平均	35講座	244回	11,408人	20.5%
		3年平均との比較	4講座	3回	△200人	0.3%
		2 中央公民館・地区公民館等開催講座内訳(数値は延べ数)				
		分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数
	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・小学生と保護者	14	289人	
		食育体験学習	年長児～小学生	6	71人	
		保護者の学習	保護者	0	0人	
	少年教育	体験活動・異年齢交流	—	6	113人	
		体験活動(地区)	地区小学生	15	228人	
	青年教育	ボランティア育成	中・高校生	8	131人	
		※障がい者の生涯学習支援	障がい者・一般成人	11	210人	
	成人教育	テーマに沿った課題学習	一般成人	13	261人	
		集合学習(市民学校)	一般成人	87	1,218人	
		働く婦人の家主催講座	一般成人	12	146人	
		勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	4	13人	
	高齢者教育	集合学習(寿大学)	高齢者	51	2,652人	
	文化活動	公民館祭・文化祭	—	18	5,793人	
	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	2	83人	
	合 計			247	11,208人	
	3 講座周知方法					
	○中央公民館ほか(指定管理) …… 広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・フェイスブック・Twitter					
	○二ツ井公民館(指定管理) …… 広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ					
	○地区公民館 …… (地域住民) チラシ (地域以外) 広報・ホームページ					
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る					





基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																																																										
施策項目	③ 学習を通じた生きがいづくり、仲間づくりの支援																																																																										
方針・目標	自主的な学習活動を支援し、学習成果の発表の場及び交流の場の確保、提供に努めます。																																																																										
事業・取組名	公民館活動事業 青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業																																																																										
目標値	1 自主学习グループ・勤労青少年ホーム利用者連絡協議会・働く婦人の家利用グループ登録団体数が過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ります。 2 寿大学の参加者数が過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ります。																																																																										
事務事業の実績	1 グループ等登録状況 ① 自主学习グループ等登録団体数 <table border="1" data-bbox="466 707 1300 1099"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">自主学习グループ等合計</th> <th rowspan="2">対人口比 (各年3.31現在)</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>279団体</td> <td>3,733人</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>285団体</td> <td>3,905人</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>293団体</td> <td>3,980人</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>294団体</td> <td>4,056人</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>H27～29平均</td> <td>291団体</td> <td>3,980人</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>平均との比較</td> <td>△12団体</td> <td>△247人</td> <td>△0.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自主学习グループ+働く婦人の家利用グループ</p> ② 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数 <table border="1" data-bbox="466 1232 1093 1626"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用グループ数</th> <th>登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>11団体</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>11団体</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10団体</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>11団体</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>H27～29平均</td> <td>11団体</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>平均との比較</td> <td>0団体</td> <td>△2人</td> </tr> </tbody> </table> ③ 寿大学参加者数 <table border="1" data-bbox="466 1715 1131 2040"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>51回</td> <td>2,652人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>2,698人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>59回</td> <td>2,841人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>57回</td> <td>2,803人</td> </tr> <tr> <td>H27～29平均</td> <td>59回</td> <td>2,781人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>△8回</td> <td>△129人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	自主学习グループ等合計		対人口比 (各年3.31現在)	団体数	人数	H30	279団体	3,733人	6.9%	H29	285団体	3,905人	7.1%	H28	293団体	3,980人	7.1%	H27	294団体	4,056人	7.2%	H27～29平均	291団体	3,980人	7.1%	平均との比較	△12団体	△247人	△0.2%	年度	利用グループ数	登録人数	H30	11団体	52人	H29	11団体	58人	H28	10団体	51人	H27	11団体	54人	H27～29平均	11団体	54人	平均との比較	0団体	△2人	年度	回数	参加者数	H30	51回	2,652人	H29	60回	2,698人	H28	59回	2,841人	H27	57回	2,803人	H27～29平均	59回	2,781人	3ヵ年平均との比較	△8回	△129人
年度	自主学习グループ等合計		対人口比 (各年3.31現在)																																																																								
	団体数	人数																																																																									
H30	279団体	3,733人	6.9%																																																																								
H29	285団体	3,905人	7.1%																																																																								
H28	293団体	3,980人	7.1%																																																																								
H27	294団体	4,056人	7.2%																																																																								
H27～29平均	291団体	3,980人	7.1%																																																																								
平均との比較	△12団体	△247人	△0.2%																																																																								
年度	利用グループ数	登録人数																																																																									
H30	11団体	52人																																																																									
H29	11団体	58人																																																																									
H28	10団体	51人																																																																									
H27	11団体	54人																																																																									
H27～29平均	11団体	54人																																																																									
平均との比較	0団体	△2人																																																																									
年度	回数	参加者数																																																																									
H30	51回	2,652人																																																																									
H29	60回	2,698人																																																																									
H28	59回	2,841人																																																																									
H27	57回	2,803人																																																																									
H27～29平均	59回	2,781人																																																																									
3ヵ年平均との比較	△8回	△129人																																																																									

	<p>2 グループ増加への取組</p> <p>① 学習成果発表の場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市公民館祭 …………… 10/5～8</li> <li>・二ツ井公民館祭 …………… 10/13, 10/26～28</li> <li>・地区公民館祭 …………… 東部10/28～27, 南部10/20～21, 向能代10/27～28, 檜山10/14, 鶴形11/4, 常盤10/20～21</li> <li>・働く婦人の家まつり …………… 10/6, 7</li> <li>・勤労青少年ホーム主催事業「メガロック」… 2/3</li> <li>・中央寿大学クラブ発表会 …… 2/21</li> </ul> <p>② 講座終了後の自主学習グループ結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館（指定管理者）… 1件（市民学校）</li> </ul>
<p>点検・評価</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>① 自主学習グループ等の登録団体については、団体数、登録人数とも減少傾向である。達成率は団体数95.9%・人数93.8%となっている。</p> <p>② 中央公民館主催の市民学校が、自主学習グループ結成につながった。</p>
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（                      ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単発講座ではなく、市民学校等の複数回の学習や、テーマに沿った課題学習がグループ結成につながりやすいため、今後とも指定管理者と連携しながら、学びの継続を奨励していく。</li> <li>・各種講座終了後の発表の場として公民館祭等をとらえ、学習者の意欲を高揚し、学びの継続を促していく。</li> <li>・自主学習グループ等構成員の高齢化及びそれに伴う団体数減、登録人数減が課題となっている。</li> </ul>
<p>学識経験者の意見</p>	<p><input type="checkbox"/>高齢化の中で、致し方ないところであるが、引き続き自主学習グループ等の掘り起こしに努めていただきたい。公民館まつり等の効果についても検証し、グループ結成の方策を探っていただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>自主学習グループ・勤労青少年ホーム利用者連絡協議会・働く婦人の家利用グループ登録団体数が目標値を下回った。今後とも講座受講者等に対し、自主グループの結成を働きかけてほしい。</p> <p><input type="checkbox"/>寿大学の参加者数が目標値を下回った。高齢者の生活環境の変化や興味・関心の多様化等に対応した活動内容を探ることは難しいと思うが、指定管理者と連携し、高齢者が楽しく取り組めるようなプログラムを構築してほしい。</p>

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																												
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																																												
方針・目標	学習者が情報を共有でき、利用しやすい環境を整えます。																																												
事業・取組名	公民館管理運営事業 施設管理事業（勤労青少年ホーム・働く婦人の家） 文化会館管理運営事業																																												
目標値	施設・設備の状況及び利用者の要望を把握し、計画的に修繕や改修を実施していきます。																																												
事務事業の実績	<p>1 施設管理計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市教育施設長寿命化計画 H30 庁内検討（R1.12 策定予定）</li> </ul> <p>2 指定管理者との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定例打合せ 能代市芸術文化協会 月1回</li> <li>スポカルきみまち 月1回</li> </ul> <p>3 平成30年度自主学習グループアンケート 改善要望</p> <table border="1" data-bbox="424 831 1382 1339"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>働く婦人の家</td> <td>トイレ</td> <td>冷房</td> <td>託児室おもちゃの管理</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td> <td>冷房</td> <td>トレイ/Wi-Fi</td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化会館</td> <td>エレベーター</td> <td>—</td> <td>照明</td> </tr> <tr> <td>中央公民館</td> <td>エレベーター</td> <td>机椅子/Wi-Fi</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東部公民館</td> <td>冷房</td> <td>網戸</td> <td>机の不備/照明が暗い</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>冷房</td> <td>網戸/Wi-Fi</td> <td>電気ポット</td> </tr> <tr> <td>向能代公民館</td> <td>トイレ/冷房</td> <td>網戸</td> <td>施設劣化/調理台不具合</td> </tr> <tr> <td>常盤地域連携</td> <td>トイレ</td> <td>—</td> <td>座椅子</td> </tr> <tr> <td>二ツ井公民館</td> <td>トイレ/冷房</td> <td>エレベーター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二ツ井分館</td> <td>トイレ</td> <td>冷房</td> <td>コピー機・座椅子</td> </tr> </tbody> </table> <p>※鶴形公民館、檜山公民館は所管外</p> <p>4 施設・設備改修</p> <p>ア 文化会館 ※指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大・中ホール照明設備改修 305,694千円</li> <li>・ 大・中ホール音響機器改修 90,979千円</li> <li>・ 大ホール階段手すり設置改修 3,069千円</li> <li>・ テレビ共聴設備修繕 2,268千円</li> <li>・ テレビ共同受信設備ルート変更修繕 146千円</li> <li>・ 自家発電設備修繕 1,199千円</li> <li>・ 非常用照明器具等修繕 303千円</li> </ul> <p>イ 働く婦人の家 ※指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根防水シート防水改修 4,374千円</li> <li>・ 給水ポンプ取替修繕 486千円</li> </ul> <p>ウ 南部公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会議室照明取替工事 1,987千円</li> <li>・ 第4研修室照明設備修繕 101千円</li> </ul>	施設名	1位	2位	その他	働く婦人の家	トイレ	冷房	託児室おもちゃの管理	勤労青少年ホーム	冷房	トレイ/Wi-Fi		文化会館	エレベーター	—	照明	中央公民館	エレベーター	机椅子/Wi-Fi		東部公民館	冷房	網戸	机の不備/照明が暗い	南部公民館	冷房	網戸/Wi-Fi	電気ポット	向能代公民館	トイレ/冷房	網戸	施設劣化/調理台不具合	常盤地域連携	トイレ	—	座椅子	二ツ井公民館	トイレ/冷房	エレベーター		二ツ井分館	トイレ	冷房	コピー機・座椅子
施設名	1位	2位	その他																																										
働く婦人の家	トイレ	冷房	託児室おもちゃの管理																																										
勤労青少年ホーム	冷房	トレイ/Wi-Fi																																											
文化会館	エレベーター	—	照明																																										
中央公民館	エレベーター	机椅子/Wi-Fi																																											
東部公民館	冷房	網戸	机の不備/照明が暗い																																										
南部公民館	冷房	網戸/Wi-Fi	電気ポット																																										
向能代公民館	トイレ/冷房	網戸	施設劣化/調理台不具合																																										
常盤地域連携	トイレ	—	座椅子																																										
二ツ井公民館	トイレ/冷房	エレベーター																																											
二ツ井分館	トイレ	冷房	コピー機・座椅子																																										

	<p>エ 東部公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石堀修繕 238千円</li> </ul> <p>オ ニツ井公民館ニツ井分館 ※指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニツ井公民館旧図書館改修（研修室へ） 42千円</li> <li>・ ニツ井公民館昇降機改修 1,130千円</li> <li>・ ニツ井分館正面入口自動ドア修繕 486千円</li> </ul>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①指定管理者との月例打ち合わせで、生涯学習の推進と利用者の利便性向上に向けた協議を行った。</p> <p>②文化会館の照明・音響設備に関し、大幅な改修工事で最新設備を投入し、より多様な舞台演出が可能となった。また、LED照明に切り替えたことにより、節電も期待できる。</p> <p>③施設や設備の老朽化に伴い改修箇所が増加傾向であるが、優先順位をつけて計画的に対応した。</p>
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（            ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①指定管理者等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行うほか、メール等も活用して随時情報交換を行う。</li> <li>・中央公民館・地区館の情報交換の場として引き続き公民館長会議の実施をする。</li> </ul> <p>②施設・設備の修繕</p> <p>引き続き指定管理者と連携しながら施設・設備の状態を把握し、計画を立てて修繕や改修を実施するよう努める。</p>
学識経験者の意見	<p>○財政状況が厳しい中でも施設・設備の改修が計画的、効果的に行われており、継続を期待したい。利用者のニーズも踏まえて、優先順位をつけて取り組んでいただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>より良い学習環境の整備・充実を目指して、指定管理者と月一回の打ち合わせを行うなど、連携して取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>文化会館の照明・音響設備の大幅な改修により、迫力ある舞台演出が可能となった。今後は市民からの改善要望の多い文化会館、中央公民館へのエレベーターの設置に向けて検討願いたい。</p>

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																																
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																																																
方針・目標	市民の学習要求に応えるため、必要な資料を広く収集・整理・提供するとともに、生涯学習や生活に役立ち、利用しやすい情報の拠点となるよう努めます。 また、読書活動を推進するため、学校や家庭との連携を強化するとともに、各種事業を展開し、利用者拡大に努めます。																																																
事業・取組名	図書館管理運営事業																																																
目標値	図書館利用者数が前年度を同等あるいは上回ります。																																																
事務事業の実績	<p>1 図書館資料の充実</p> <p>(1) 蔵書数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>一般書</th> <th>郷土</th> <th>児童書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>129,676 冊</td> <td>17,594 冊</td> <td>39,615 冊</td> <td>186,885 冊</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>123,049 冊</td> <td>15,423 冊</td> <td>36,126 冊</td> <td>174,598 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 特色ある蔵書づくり ※( )は29年度実績  「木に関するコーナー」 H30 1,812 冊 (1,788 冊)  「宇宙コーナー」 H30 790 冊 (769 冊)  「家読(うちどく)コーナー」 家読ノートに掲載のお薦めの本等を展示</p> <p>(3) 雑誌スポンサー制度 (H26年4月導入)  H30 スポンサー数 18 件 / 雑誌 23 誌  (H29 スポンサー数 18 件 / 雑誌 23 誌)</p> <p>2 サービス活動の充実と利用の拡大</p> <p>(1) 貸出冊数、利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>160,399 冊</td> <td>9,860 冊</td> <td>170,259 冊</td> <td>114,362 人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>162,504 冊</td> <td>12,286 冊</td> <td>174,790 冊</td> <td>110,233 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※30年度から貸出冊数の無制限を実施。</p> <p>(2) その他統計</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30)</th> <th>(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内</td> <td>10,361 件</td> <td>10,160 件</td> </tr> <tr> <td>イ リクエスト (予約) サービス</td> <td>5,369 冊</td> <td>5,309 冊</td> </tr> <tr> <td>ウ 障がい者サービス (家庭配本)</td> <td>136 冊</td> <td>175 冊</td> </tr> <tr> <td>エ 県立図書館等公共図書館との相互協力</td> <td>借受 636 冊 貸出 258 冊</td> <td>700 冊 389 冊</td> </tr> <tr> <td>オ ホームページの整備と管理</td> <td>アクセス数 16,325 件</td> <td>16,434 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 市や社会教育施設等との連携</p> <p>ア 「子育て・家庭教育に関する本」の貸出  保育所向け・小学校向け・中学校向けの本3セット(1セット15冊)を、希望のあった施設へ設置 (生涯学習・スポーツ振興課)</p> <p>イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月、11月/市民活力推進課)</p> <p>ウ 育児関係本や絵本の配本 (毎月3歳児検診/健康づくり課)</p> <p>エ 「どの本読もうかな」(読み聞かせおすすめ絵本の紹介)の配布 (年4回/健康づくり課)</p> <p>オ 木に関する加工品の展示 (通年/木材高度加工研究所)</p>	年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計	H30	129,676 冊	17,594 冊	39,615 冊	186,885 冊	H29	123,049 冊	15,423 冊	36,126 冊	174,598 冊	年度/項目	個人貸出	団体貸出	合計	利用者数	H30	160,399 冊	9,860 冊	170,259 冊	114,362 人	H29	162,504 冊	12,286 冊	174,790 冊	110,233 人		(H30)	(H29)	ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内	10,361 件	10,160 件	イ リクエスト (予約) サービス	5,369 冊	5,309 冊	ウ 障がい者サービス (家庭配本)	136 冊	175 冊	エ 県立図書館等公共図書館との相互協力	借受 636 冊 貸出 258 冊	700 冊 389 冊	オ ホームページの整備と管理	アクセス数 16,325 件	16,434 件
年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計																																													
H30	129,676 冊	17,594 冊	39,615 冊	186,885 冊																																													
H29	123,049 冊	15,423 冊	36,126 冊	174,598 冊																																													
年度/項目	個人貸出	団体貸出	合計	利用者数																																													
H30	160,399 冊	9,860 冊	170,259 冊	114,362 人																																													
H29	162,504 冊	12,286 冊	174,790 冊	110,233 人																																													
	(H30)	(H29)																																															
ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内	10,361 件	10,160 件																																															
イ リクエスト (予約) サービス	5,369 冊	5,309 冊																																															
ウ 障がい者サービス (家庭配本)	136 冊	175 冊																																															
エ 県立図書館等公共図書館との相互協力	借受 636 冊 貸出 258 冊	700 冊 389 冊																																															
オ ホームページの整備と管理	アクセス数 16,325 件	16,434 件																																															

(4) 学習機会の提供※<sup>1</sup>

年度/項目	講座等の開催		人形劇、書評合戦等の開催	
H30	13回	336人	9回	533人
H29	11回	300人	11回	436人

(5) テーマ展示の充実等

特色ある月替わりのテーマ展示やおみくじ等を実施。

- ア としょかんおみくじ (年始)
- イ 子育て支援関連コーナーの設置
- ウ としょかん福袋 (年末)
- エ およこわいわいルーム (H30 159人 / H29 209人)
- オ 家読コーナーでの展示・貸出

(6) 開館時間延長及び開館日拡大の継続

- ・開館を午前9時から、閉館を午後7時とし、開館時間の2時間延長を継続した。
- ・月曜日以外の祝日を開館とし、開館日の拡大を継続した。

3 子どもの読書活動の推進

(1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援※<sup>2</sup>

年度/項目	おはなし会		出前おはなし会	
H30	31回	491人	6施設	100人
H29	31回	462人	3施設	64人

(読み聞かせはボランティアが担当)

- ア 一日図書館員 (小学校6年生) 3人
- イ 学校図書館担当者研修会 33人
- ウ 学校への図書配本を実施 25回 / 1,842冊
- エ としょかんスタンプラリーの開催 達成者 191人
- オ 図書館を使った調べる学習コンクールの開催 講座 3回 / 44人  
応募 25作品

(2) ボランティアとの連携

※<sup>1</sup> 2 (4) 学習機会の提供、※<sup>2</sup> 3 (1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援に記載

4 指定管理者との連携による利用者サービスの向上

利用者満足度調査 (能代図書館) :

調査月日 10月13日 (土) ~16日 (火)

調査方法 来館者無作為抽出

調査対象 利用者 300人 回収者 287人

【全体的にみた、能代図書館に対する満足度】

	回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足度
H30	273人	141人	85人	40人	6人	1人	4.32
H29	280人	139人	84人	56人	1人	0人	4.29

※評価は5段階 「満足」 5 「やや満足」 4 「普通」 3 「やや不満」 2 「不満」 1

点検・評価

- 目標を上回る       ほぼ目標どおり       目標をやや下回る  
 目標を大幅に下回る



基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	① 伝統芸能の継承
方針・目標	学校や地域と連携した伝統芸能の継承活動を推進します。
事業・取組名	民俗芸能振興事業
目標値	能代市民俗芸能連合会の構成団体数を維持します。
事務事業の実績	<p>1 能代市民俗芸能連合会構成団体数（単位保存会数）  H28 18 団体  H29 18 団体  H30 18 団体</p> <p>2 ①合同発表会（能代地区）  日時：10/14  会場：能代市総合体育館（産業フェア会場）  出演団体数：4 団体  ②合同発表会（二ツ井地区）  日時：11/4  会場：きみまち阪公園  出演団体数：6 団体</p> <p>3 用具整備補助  梅内郷土芸能保存会の用具修繕事業への補助  内 容：駒踊り用駒頭修理（8 頭）  補助額：128,000 円</p> <p>4 後継者育成事業  各保存会で実施</p> <p>5 各学校での取組  二ツ井小学校：仁鮎ささら踊・切石佐々楽踊・富根報徳番楽（正課クラブ）  竹生小学校：鳥形獅子踊（総合的な学習の時間）  崇徳小学校：檜山舞（総合的な学習の時間）  能代東中学校：檜山舞・鯨淵番楽・鶴形ささら（合同発表会）</p> <p>6 子ども民俗芸能発表会  日時：11/11  会場：二ツ井伝承ホール  発表：民俗芸能6 団体</p>
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	[説明] ・連合会構成団体数は18 団体を維持している。 ・連合会の合同発表会や子ども民俗芸能発表会での出演団体数は、昨年並みを維持している。
課題及び	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（      ）



<p>今後の取組の 方 向 性</p>	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数の減少と会員の高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難である。今後も連合会との連携を深めていくとともに、用具整備等、単位保存会への支援も継続していく</li> <li>・小学校の統合により、学校教育の一環として行われてきた民俗芸能の体験学習の機会が減少することも考えられる。団体と連携しながら統合後の学校へ働きかけるなど、後継者育成の方向性を模索していきたい</li> </ul>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○高齢化の中で、構成団体の数を維持することが難しくなっていると思われる。支援等のあり方について検討していただきたい。また、学校での取り組みへの支援も重要である。学校統廃合の状況を見極めながら対応してほしい。</p> <p>□各単位保存会の頑張りで活動が継続されていることに敬意を表したい。今後とも用具修繕にかかる補助等を通して各単位保存会の支援に努めてほしい。</p> <p>□子ども民俗芸能発表会の開催は、後継が期待される子どもたちのやる気を喚起するうえで貴重な場になっており、今後とも継続してほしい。</p>

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	② 文化財保護事業の推進
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。
事業・取組名	文化財保護事業
目標値	1 文化財がき損、散逸しないよう保護に努め、現在の指定・登録文化財数を維持します。 2 市民の文化財保護意識の高揚を図るため、関係団体と連携して歴史探訪会を開催し、参加者の満足度4.5以上（5段階評価）を目指します。
事務事業の実績	1 指定・登録文化財数 H28 99件 H29 99件 H30 99件 2 歴史探訪会 ・7/13「市内のお寺を巡る会」22人 参加者満足度評価：4.73（5段階評価） 3 関係団体の活動支援 ・秋田県文化財保護協会能代支部 ・のしろ檜山周辺歴史ガイドの会 ・二ツ井町文化財保護協会
点検・評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る ・歴史探訪会については、秋田県文化財保護協会能代支部と共催し、市民のニーズにあったテーマを設定できた。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（      ） [具体的な課題及び取組] ・引き続き指定文化財の市外流出の防止を図るため、文化財所有者の情報収集に努めるとともに、市外所有者には市への寄託を依頼する。 ・歴史探訪会についても引き続き参加者の満足できるテーマを設定し、市民の文化財保護意識の高揚を図っていく。 ・寄託された文化財等の適切な保管のため、保管施設の整備を検討する。
学識経験者の意見	<input checked="" type="checkbox"/> 文化財が後世に引き継がれるよう、文化財の収集・保存・活用に引き続いて取り組んでいただきたい。 <input type="checkbox"/> 歴史探訪会参加者の満足度評価が4.73と目標値を上回った。今後とも市民のニーズに合ったテーマで歴史探訪会を開催し、文化財保護意識の高揚に努めてほしい。

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	② 文化財保護事業の推進
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。
事業・取組名	檜山安東氏城館跡保存管理事業
目標値	1 檜山城跡の整備の指針となる環境整備計画に基づき、整備（案内板3基設置）・発掘調査を実施します。 2 史跡の管理のための除草延べ25ha、伐木140立米を実施します。
事務事業の実績	1 檜山城跡の発掘調査の実施 調査期間：6/11～10/16（57日間） 2 史跡の除草を実施 檜山城跡：遺構箇所9ha×2回、遊歩道2回 大館跡：遺構箇所7ha×1回 3 檜山城跡の整備の実施 景観伐木：176立米、7tの運搬 除伐1ha 案内板等の設置 案内サイン：3基
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] ・史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づき、案内板等の設置、景観伐採及び檜山城跡の発掘調査を計画どおり実施できた。 ・除草については、檜山城跡の遺構箇所除草面積を前年度比1ha増やすことができ、見学者の利便性を高めることができた。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] ①整備及び発掘調査体制の充実に努める。 調査整備委員会の開催及び助言者からの指導を随時実施する。 ②史跡への関心を高めるための情報発信のあり方の検討 様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。
学識経験者の意見	<input type="checkbox"/> 檜山城跡の整備と活用について、今後とも計画的、効率的に取り組んでいただきたい。市民の関心を高めるように情報発信にも引き続き期待したい。 <input type="checkbox"/> 環境整備計画に基づき発掘調査、景観伐木、案内板の設置等が進められ、整備状況についてもタイムリーに発信されている。 <input type="checkbox"/> 文化財保護に向けて、今後とも調査整備委員会や有識者の指導のもと調査・整備を進めてほしい。

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	② 文化財保護事業の推進
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。
事業・取組名	埋蔵文化財調査事業
目標値	開発行為に関わる調査依頼に応じ、確認調査・発掘調査を実施します。
事務事業の実績	<p>1 試掘（確認）調査：依頼件数4件、実施件数4件 船沢遺跡、逆川遺跡近接地、トドメキⅠ遺跡近接地、竹生Ⅱ遺跡近接地</p> <p>2 試掘（分布）調査：依頼件数4件、実施件数4件 東雲原地区、河戸川浅内地区、烏野遺跡近接地、竹生Ⅱ遺跡近接地</p> <p>3 立会調査：6件 八森坂Ⅰ遺跡近接地、下大野Ⅰ遺跡、西堂前遺跡、梯ノ台遺跡、塩干田遺跡、戸川向遺跡堤下遺跡</p>
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  [説明] ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を遂行できた。
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（                      ） [具体的な課題及び取組] ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を進める。
学識経験者の意見	○文化財を後世に残すため、計画的に保護活動に取り組んでいただきたい。 <input type="checkbox"/> 試掘（確認）調査や試掘（分布）調査、立会調査が文化財保護法に則り適切に進められていることと思う。今後とも開発業者と情報共有しながら、埋蔵文化財の保護に努めてほしい。



<p>今後の取組の 方 向 性</p>	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市芸術文化協会と連携し、市民文化月間への参加団体の維持・拡大を図る。</li> <li>・市ホームページや県生涯学習総合案内サイトを中心に情報提供を行う。</li> <li>・市所蔵絵画展は、これまでも展示テーマを設けたり、チラシに用いる絵を毎回変えたりするなど、周知のマンネリ化を避ける工夫しているが、アンケートで要望の多い絵画や作者の解説を展示に追加するなど（所有する絵画の基礎情報が少ない中で容易なことではない）、来場者の関心を喚起し、満足度を高める工夫をする。</li> <li>・各種助成事業等については、引き続き、様々な団体が利活用できるようわかりやすい周知に努める。</li> <li>・文化芸術振興によって、市民の郷土愛や生活の豊かさにつながるよう取り組んでいく。</li> </ul>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○少子高齢化の中で、文化月間の入場者数が増加しているのは朗報である。参加団体の維持・拡大、市所蔵絵画展の入場者増などへの今後の取り組みに期待したい。</p> <p>□市民文化月間の入場者数については、展示部門において目標値を上回った。今後とも出品数・出演団体数の確保と入場者数の増を目指してほしい。</p>

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興					
施策項目	③ 文化芸術の振興					
方針・目標	文化芸術団体等への支援に努め、芸術鑑賞の機会や活動の場を提供します。					
事業・取組名	文化会館主催事業					
目標値	事業数及び入場者数の過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ること。					
事務事業の実績	1 主催事業					
	No.	開催日	事業名	内容	入場者	
	1	6/24	ベルリン交響楽団演奏会	クラシック	1,000	
	2	7/21	お笑いライブ in 能代 (2回公演)	お笑い	1,400	
	3	8/5	川中美幸コンサート (2回公演)	演歌	1,450	
	4	9/1	松竹特別公演「華岡青洲の妻」	演劇	400	
	5	9/16	第14回みんなで歌うコンサート	市民参加型	300	
	6	9/30	桂九雀で田中啓文、こともあろうに内藤裕敬	落語	110	
	7	10/24	DRUM TAO	和太鼓ショー	1,085	
	8	11/18	コント集団 ザ・ニューズペーパー	コント	650	
	9	12/2	第14回クリスマスこどもコンサート	市民参加型	500	
	30年度合計				9回	6,895
	27～29年度平均				7.9回	5,063
	平均との比較				1.1回	1,832
	2 ロビーコンサート (市民が参加発表し、無料で会場を提供)					
	No.	開催日	内容		入場者	
	1	4/22	第108回	クラリネットコンサート	80	
	2	6/3	第109回	コカリナ演奏会	100	
	3	8/19	第110回	サウンドオブミュージックコンサート	100	
	4	9/23	第111回	大正琴とオカリナコンサート	80	
	5	12/9	第112回	ぴあのあミニコンサート	90	
	6	12/23	第113回	アコーディオンコンサート	70	
	30年度合計				6回	520
	27～29年度平均				9回	1,135
	平均との比較				△3回	△615
	3 市民芸術文化祭 (能代市芸術文化協会主催事業) ※P49の表を再掲					
	区分	展示部門		舞台部門		
H30	8団体	入場者数 9,025人	15団体	入場者数 710人		
H29	9団体	入場者数 8,571人	18団体	入場者数 806人		
H28	11団体	入場者数 6,008人	19団体	入場者数 847人		
H27	11団体	入場者数 6,123人	19団体	入場者数 748人		
27～29平均	10団体	入場者数 6,901人	19団体	入場者数 800人		
平均との比較	△2団体	入場者数 2,124人	△4団体	入場者数△90人		

	4 文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室）との連携				
	年度	開催日	事業名	対象	入場者
	H29	9/21, 22	人形劇パペットファンタジー 「ムーミン谷の夏まつり」	全小学校 児童	2,391人
	H30	実績なし			
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る				
	[説明] ①主催事業は、幅広いジャンルの鑑賞機会を提供した。中でも世界的に有名なベルリン交響楽団のクラシックコンサートと、和太鼓ショーであるDRUM TAOが多くの市民に喜ばれた。 ②ロビーコンサートは、改修工事に伴うホール休止等の影響と、29年度に比較して小規模イベントの申込みが多く、開催回数・入場者数ともに減となっている。今後もニーズを把握し、工夫しながら継続する。 ③市民芸術文化祭について、参加団体数は展示部門、舞台部門ともに減少したものの、展示部門において入場者数は増えている。参加団体構成員の高齢化等を考えると、既存の取り組みを継続するだけでは参加団体の減少は今後も続くことが予測され、今後は、興味関心をもった鑑賞者を団体活動へ引き入れる仕掛けが必要である。能代市芸術文化協会と連携しながら検討していきたい。				
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（                      ）				
	[具体的な課題及び取組] 市民ニーズを反映した事業を展開するため、引き続き入場者等に対するアンケートを実施する。また、市民や利用者の声の募集の方法（はがき、インターネット等）についても検討していく。				
学識経験者の意見	<input type="checkbox"/> 主催事業は大幅に入場者数が増えており、今後とも充実に努めていただきたい。市民芸術文化祭の参加団体数、入場者数の減少は致し方ないところであるが、新規参加者の発掘に向けて一層の工夫を期待したい。 <input type="checkbox"/> 主催事業については市民のニーズを把握し、ジャンルのバランスを考慮した内容になっており、結果として入場者数の大幅増につながっている。 <input type="checkbox"/> ロビーコンサートについては、今後とも可能な限り発表の場の提供を望んでいる団体、個人の利用希望に応えてほしい。				



基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
方針・目標	心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。
事業・取組名	1 子どもの体力向上の推進 2 小中学校の体育等に関する活動の充実
目標値	すべての学年において新体力テストの体力合計点を県平均以上にします。
事務事業の実績	<p>1 子どもの体力向上の推進 関係団体と連携し、各種事業を通して運動の習慣化等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市 <ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジデー</li> <li>きみまち二ツ井マラソン</li> </ul> </li> <li>・指定管理者 <ul style="list-style-type: none"> <li>マリンスポーツ教室（15回）※カヌー&amp;ヨット体験他</li> <li>NOSHIROバスケットボールフェスタ（1回）</li> <li>スポレクフェスタのしろ、ふたつ（各1回）※ニュースポーツ体験他</li> <li>ファミリーいきいき体操塾（2回）※マット運動、鉄棒、跳び箱</li> </ul> </li> <li>・市体育協会 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み!!プールでヨット&amp;カヌー教室（4回）</li> <li>ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代（1回）</li> </ul> </li> <li>・総合型地域スポーツクラブ <ul style="list-style-type: none"> <li>ファミリースポーツ教室（50回）※ミニテニス、卓球、各種レク他</li> <li>バスケットボール教室（24回）</li> </ul> </li> <li>・市スポーツ少年団 <ul style="list-style-type: none"> <li>体力テスト（1回）※上体起こし他4種目</li> </ul> </li> </ul> <p>2 小中学校の体育等に関する活動の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 体育・保健体育学習の充実に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テスト結果分析を以降の学習指導に生かしている。</li> <li>・研修会へ参加し、体育・保健体育学習の充実を図っている。</li> <li>・休み時間等を活用した運動を実施している。</li> <li>・県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学んでいる。</li> </ul> </li> <li>② 中学校部活動の活性化を図るため、合同チームなどにより生徒のニーズに応じた運動部活動を推進している。</li> <li>③ 児童生徒の運動機会の拡充を図っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の徒歩通学に関する調査結果を情報提供している。</li> <li>・学校訪問等で、体力の維持、向上を図るための指導や助言をしている。</li> </ul> </li> </ol>
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る

1～2 共通

[説明]

○新体力テスト体力合計点

◇男子

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
県H30	32.23	39.33	45.66	51.83	57.50	63.04	36.25	45.56	50.91
市H30	34.25	40.20	45.97	53.20	59.08	63.84	38.51	49.34	52.89
市H29	32.20	39.62	47.29	53.41	59.04	62.96	37.50	47.66	55.01
市比較	+2.05	+0.58	-1.32	-0.21	+0.04	+0.88	+1.01	+1.68	-2.12
県比較	+2.02	+0.87	+0.31	+1.37	+1.58	+0.80	+2.26	+3.78	+1.98

◇女子

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
県H30	32.75	40.75	47.51	54.20	59.77	64.25	48.04	52.38	54.08
市H30	34.24	42.26	50.49	56.86	60.56	66.12	50.78	56.40	58.14
市H29	33.35	44.31	49.32	54.79	61.19	65.81	47.41	53.78	59.89
市比較	+0.89	-2.05	+1.17	+2.07	-0.63	+0.31	+3.37	+2.62	-1.75
県比較	+1.49	+1.51	+2.98	+2.66	+0.79	+1.87	+2.74	+4.02	+4.06

【テスト結果】

- ・小学生・中学生いずれも全ての学年の男女で、県平均を上回っている。
- ・昨年度、小1男子が県平均を下回っていたが、今年度（小2男子）は県平均を上回り、体力の向上が見られた。

課題及び  
今後の取組の  
方向性

拡充 継続 廃止検討 その他（ ）

[具体的な課題及び取組]

1 子どもの体力向上の推進

幼児から児童生徒まで運動の習慣化に繋げていくため、関係団体と連携しながら引き続き効果的な事業展開を図る。

2 小中学校の体育等に関する活動の充実

児童生徒に運動習慣や健康的な生活習慣を身に付けさせるため、引き続き各事業の推進を図る。

学識経験者  
の意見

○新体力テストの結果を見ても、取り組みの成果が出ていると思われる。引き続き、学校と連携して子どもたちの体力づくりに取り組んでいただきたい。

□本市の小中学生が全県及び全国規模の各種大会で好成績を収めているという報道を目にし、子どもたちの体力向上が良好な状態であることが窺い知れる。学校、スポーツ少年団、スポーツクラブと連携した取組の成果と思う。

□学校統合により廃校となった学校の体育館やグラウンドを部活動やスポ少活動等において、どのような形で活用していくかについても検討してほしい。

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
方針・目標	体力や年齢等に応じて、日常的にスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。
事業・取組名	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 3 健康づくり運動の推進
目標値	成人の週1回以上のスポーツ実施率が60%以上となることを目指します。
事業の実績	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 ①関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。 ・指定管理者 体験版！多種目スポーツ教室（8回）※マレットゴルフ、ラージ卓球他 ステップエクササイズ教室（8回）※一般女性限定 ・市体育協会 初めてのルーシーダットン教室（4回）※タイ式自己整体法 初めてのスローエアロビクス教室（4回） ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※太極拳、ヨーガ、ファン！フィットネス他 ②チャレンジデーの際に各地域でできるスポーツ・運動を紹介した。 ・市民参加型イベントの競技を増やした。（24種目） ・防災無線を活用しラジオ体操を放送した（二ツ井・常盤・松山地域）。 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体と連携し福祉と連動した健康づくり事業を展開している。 ・指定管理者 シルバースポーツの日（24回）※バレー、ミニテニス他 ・市体育協会 二ツ井シルバースポーツの日（24回）※バレー、ミニテニス他 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※ラージ卓球、軽運動、健康増進運動他 3 健康づくり運動の推進 ①チャレンジデー等のイベントを活用した運動機会の創出に努めている。 今年6回目の参加で、参加率が50.8%から62.4%に増加した。 ②のしろ歩け歩け大会を開催し、風の松原内のウォーキングを通じて健康づくりの意識を高めた。（4kコース34人、6kコース16人）
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る [説明] ・成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民意識調査） 目標値にはまだ届かないものの前年度より、0.3ポイントの増となった。 30年度 50.7%（29年度 50.4%） ・チャレンジデーは、参加率62.4%という結果となり前年を上回った。
課題及び	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（    ）

<p>今後の取組の 方 向 性</p>	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充        継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。成人の週1回以上のスポーツ実施率が上がったことから、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営等、各団体との連携を図っていく。</p> <p>2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備        関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> <p>3 健康づくり運動の推進        チャレンジデーは、スポーツや健康づくり、地域の絆づくりに効果的である。参加率も回数を重ねる毎に増加してきていることから、さらに各団体や地域と連携を深め、引き続き参加率の向上とスポーツの習慣化を図っていく。</p>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○健康年齢を伸ばせるよう、スポーツ参加機会の拡充に今後とも努めていただきたい。</p> <p>□市民が体力や年齢等に応じてスポーツに参加できるよう環境整備が計画的に進められており、そのことが例えばチャレンジデーでの参加率の伸びに結びついているものと思う。</p> <p>□青壮年者や高齢者がスポーツを通して健康で明るく生き生きとした生活を送れるよう様々な取組が行われている。今後とも市民のニーズに対応したプログラムや情報の提供に努めてほしい。</p>

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	③ スポーツを活用した地域の活性化
方針・目標	バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。
事業・取組名	1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進
目標値	スポーツを活用した、地域のにぎわい創出と大規模スポーツ大会の誘致や支援等に取り組みます。
事務事業の実績	<p>1 スポーツを活用した地域づくり</p> <p>① のしろチャレンジデー2018に参加した。(6回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝から夜間まで住民がこぞってスポーツに取り組み、地域の一体感を高めた。</li> <li>市人口 54,204人 参加者 33,863人 参加率 62.4%</li> </ul> <p>② 関係団体と連携し、スポーツ合宿等を行った。</p> <p style="text-align: center;">※観光振興課所管のスポーツ・文化合宿事業を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会が中心となり実行委員会を組織し、バスケットボールキャラバンのサマーリーグin能代を招致した。(補助事業)</li> <li>合宿参加チーム 11チーム 278名 (H29 8チーム 206名)</li> </ul> <p>2 スポーツによる交流人口の拡大</p> <p>① 関係団体、民間企業等と連携し、スポーツによる交流の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きみまちニツ井マラソン 1,720人参加 (H29 : 1,788人)</li> <li style="text-align: center;">※オープン参加分を除く</li> <li>・マラソンとあわせ地元企業等による物産フェア(きみまちの里フェスティバル)を開催した。入場者数 12,575人 (H29 : 11,723人)</li> <li>・マラソンボランティアの育成が図られた。407人 (H29 : 393人)</li> <li>・全県大会以上の開催</li> <li style="margin-left: 20px;">ア 全国大会 5回</li> <li style="margin-left: 20px;">イ 東北大会 4回</li> <li style="margin-left: 20px;">ウ 全県大会 40回</li> </ul> <p>②新たなスポーツの魅力の発掘及び開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度から市体育協会でも新しいスポーツとして「バブルサッカー」の取組を始め、引き続き「バブルサッカー」の参加者拡大など、普及を図った。</li> </ul> <p>③大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代カップの際、市役所大会議室(旧議事堂)で特別展を開催。</li> </ul> <p>3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進</p> <p>①本物のバスケに触れられる街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・bリーグ秋田ノーザンハピネッツ(プロバスケ)のホームゲームが11月に開催された。</li> </ul> <p>②バスケで誰もが集える環境づくり</p> <p>③バスケによる地域経済の活性化</p> <p>④バスケがどこでも感じられる街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール大会等の事業を市体育協会等に委託し継続した。</li> </ul>

	<p>※能代カップ入場者数：5,148人（H29 5,246人）</p> <p>・屋外バスケットリングの設置 市内公園等 27箇所（H30末）</p>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロスポーツ選手のプレーと触れ合うことにより、スポーツの素晴らしさや夢に向かって努力する大切さを学ぶことができた。</li> <li>・マラソンと物産フェアの合同開催により、スポーツを通じた交流人口の拡大が図られた。</li> <li>・各担当課、関係団体が連携し、これまでどおり事業を継続することで、概ね現状維持はできた。</li> </ul>
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</li> <li>2 スポーツによる交流人口の拡大 ・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。 ・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）について、関係団体と連携し、効率的な伝え方を工夫していく。</li> <li>3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</li> </ol>
学識経験者の意見	<p>○チャレンジデー参加者数、物産フェア入場者数などが増加しており、成果をあげている。スポーツを活用した地域づくり、交流人口の拡大等に今後も取り組んでいただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>スポーツ合宿の参加チーム、参加者数が前年度を上回った。実行委員会を組織し、関係団体が連携して招致に取り組んだ成果と思う。</p> <p><input type="checkbox"/>「バスケの街づくり」に向けて様々な取組が行われている。今後とも能代カップやbリーグ秋田ノーザンハピネッツのホームゲームの開催、特別展の企画等を通して交流人口の拡大に努めてほしい。</p>

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備
方針・目標	総合型クラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。
事業・取組名	1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備
目標値	スポーツ関係団体等と連携し、地域のスポーツ指導者等の充実に努め、併せて安全で利便性の高い施設の充実を図ります。
事務事業の実績	1 地域のスポーツ指導者等の充実 ①地域のスポーツ指導者の育成と活用 ・市スポーツ推進委員会、市体育協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。 ・研修会参加等の支援を行った。 ・スポーツ少年団指導者資格数 44団体 369人 (H28 : 357人) ②スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援 ・市スポーツ少年団の講師派遣型スポーツセミナーを実施した。 ・市体育協会スポーツリーダーバンク登録者数 32人 2 スポーツ施設の充実 ①スポーツ施設の整備・改修 ・落合テニスコート改修工事を実施した。(H30～31継続事業) ・落合第二球場の内野グラウンド整備を実施した。 ②学校体育施設等の活用 ・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。 (淳西小、淳南小、四小、五小、向小) ③利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進 ・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。 ・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。 ・施設年間利用者数 309,500人 (H29 : 308,317人) ④自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進 ・市主催 のしろ歩け歩け大会(風の松原、風の松原陸上競技場) ・市体育協会 マリンスポーツ教室(米代川河口付近) 3 スポーツに関する表彰制度の整備 児童・生徒の表彰(能代市栄光賞、市体育協会スポーツ賞)を継続して行った。
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  [説明] ・各種研修会の開催や派遣を実施・支援することにより、指導者やリーダーの育成と資質の向上を図った。 ・施設の整備等により、利用者が良好なコンディションで競技できる環境整備を図った。 ・体育施設の管理運営に関し、アンケート結果を反映して改善に努めたことにより、利用者ニーズへの対応が図られた。 ・大会等における成績優秀者への表彰を行うことにより、児童・生徒のスポーツ

	に対する意欲の喚起を図った。
課題及び 今後の取組の 方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] 1 地域のスポーツ指導者等の充実 ・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や人材の発掘等については、引き続き各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市体育協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。 2 スポーツ施設の充実 ・適切な施設の維持管理を行う。 ・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。 ・体育施設の長寿命化計画策定を進める。（R1 年度完成予定） 3 スポーツに関する表彰制度の整備 ・児童・生徒への表彰を引き続き行い、併せて世界で活躍する選手に対する表彰制度の検討を行う。
学識経験者 の意見	<input type="checkbox"/> スポーツ指導者の育成、活用は重要であり、専門性の向上とともに、人権意識の向上等にも努めていただきたい。 <input type="checkbox"/> スポーツ施設の適切な管理運営、充実には経費も多くかかることから計画的な取り組みをお願いしたい。 <input type="checkbox"/> 指定管理者である市体育協会と連携して、各スポーツ施設の安全対策が適切に行われている。今後とも市民が安心して運動できるよう、各種点検や安全指導に努めて行ってほしい。 <input type="checkbox"/> 少子高齢化が進む中、スポーツ指導者の育成や活用も難しい状況にあると思うが、引き続き各種スポーツ団体と連携し、人材の発掘に努めてほしい。



### Ⅲ 教育委員会の運営状況

#### (1) 教育委員会の開催状況

##### ① 開催状況

定例会 12回 臨時会 5回

##### ② 審議された案件等

年月日	区分	番号	件名
H30.4.25	臨時会	議案 第26号	平成30年度能代市教育委員会関係職員の人事異動について
H30.4.27	定例会	議案 第21号	能代市立小、中学校学校評議員の委嘱について
		議案 第22号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第23号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第24号	能代市公民館活動協力員の委嘱について
		議案 第25号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		報告 第4号	能代市奨学金返還助成金交付要綱の一部改正について
		報告 第5号	能代市奨学選考委員会委員の委嘱について
H30.5.23	定例会	報告 第6号	能代市青少年健全育成方針(平成30年度～34年度)について
		報告 第7号	平成30年度能代市青少年健全育成活動方針について
		議案 第27号	能代市教育委員会の教育長に対する委任規則の一部改正について
		議案 第28号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第29号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第30号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第31号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第32号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第33号	能代市二ツ井公民館分館長及び主事補の委嘱について
		議案 第34号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
H30.6.28	定例会	協議 4	能代市公民館条例の一部改正について
		協議 5	能代市屋外運動施設条例及び能代市屋外運動施設使用料条例の一部改正について
		協議 6	平成30年度能代市一般会計補正予算について
		報告 第8号	能代市生涯学習奨励員の委嘱について
		報告 第9号	能代市教育委員会教育長の任命について(当日追加)
		報告 第10号	能代市教育委員会委員の任命について(当日追加)
H30.6.28	定例会	承認 第1号	平成30年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について
		承認 第2号	平成30年度能代市一般会計補正予算の承認を求めることについて
		議案 第35号	能代市屋外運動施設管理規則の一部改正について
		議案 第36号	能代市立図書館協議会委員の任命について
		議案 第37号	能代市文化財保護審議会委員の任命について

年月日	区分	番号	件名
H30. 7. 27	定例会	承認 第 3 号	臨時代理の承認について（損害賠償の額決定及び和解について）
		承認 第 4 号	臨時代理の承認について（落合第一テニスコート及び落合第二テニスコート改修工事（土木工事）の請負契約について）
H30. 8. 1	臨時会	議案 第 38 号	平成 3 1 年度使用能代市立中学校「特別の教科 道徳」教科用図書の採択について
		議案 第 39 号	平成 3 1 年度使用能代市立小学校各種目（道徳を除く）教科用図書の採択について
H30. 8. 27	定例会	議案 第 40 号	第 2 次能代市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱の制定について
		議案 第 41 号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
		議案 第 42 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市文化会館大・中ホール音響機器改修工事の請負契約について）
		議案 第 43 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市文化会館大・中ホール照明設備改修工事の請負契約について）
		議案 第 44 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市一般会計補正予算）
H30. 9. 27	定例会	承認 第 5 号	臨時代理の承認について（能代市一般会計補正予算）
		議案 第 45 号	第 2 次能代市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について
H30. 10. 3	臨時会	議案 第 46 号	平成 3 0 年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について
H30. 10. 25	定例会	議案 第 47 号	能代市教育支援委員会委員の任命について
H30. 11. 26	定例会	議案 第 48 号	能代市就学援助費支給要綱の一部改正について
		議案 第 49 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市立図書館条例の一部改正について）
		議案 第 50 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市一般会計補正予算案）
H30. 12. 27	定例会	承認 第 6 号	臨時代理の承認について（損害賠償の額決定及び和解について）
		議案 第 51 号	能代市立図書館の管理運営に関する規則の一部改正について
H31. 1. 24	定例会	議案 第 1 号	能代市立図書館処務規程の制定について
		議案 第 2 号	能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
H31. 2. 18	定例会	議案 第 3 号	第 2 次能代市スポーツ推進計画について
		議案 第 4 号	能代市立学校条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 5 号	能代市公民館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について

年月日	区分	番号	件名
		議案 第6号	能代市文化会館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出
		議案 第7号	能代市図書館建設基金条例の一部を改正する等の条例案に対する意見の申出について
		議案 第8号	平成30年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第9号	平成31年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について
H31.3.1	臨時会	議案 第10号	平成31年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について
H31.3.22	臨時会	議案 第11号	平成31年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について
H31.3.26	定例会	承認 第1号	臨時代理の承認について（能代市一般会計補正予算）
		議案 第12号	能代市小、中学校管理規則の一部改正について
		議案 第13号	能代市小中学校通学区域に関する規則等の一部改正について
		議案 第14号	能代市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
		議案 第15号	能代市スクールバス運行管理要綱の一部改正について
		議案 第16号	能代市学校医及び学校薬剤師の委嘱について
		議案 第17号	能代市教育相談員の委嘱について
		議案 第18号	能代市適応指導教室指導員の委嘱について
		議案 第19号	能代市心の教室指導員の委嘱について
		議案 第20号	能代市社会教育指導員の委嘱について
		議案 第21号	能代市子ども館館長の任命について
		議案 第22号	能代市子ども館指導員の委嘱について
		議案 第23号	能代市文化財保護審議会委員の任命について
		議案 第24号	能代市スポーツ推進委員の委嘱について
		議案 第25号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第26号	平成31年度能代市学校教育指導の重点について
		報告 第1号	能代市児童支援アドバイザー及び能代市特別支援教育アドバイザーの任用について
		報告 第2号	能代市社会教育施設等運営方針について

## (2) 教育委員の活動状況

年月日	行 事
H30. 5. 24	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議
H30. 6. 1	能代山本市町教育委員会連合会総会 第1回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
H30. 6. 28	教科用図書採択研究会①
H30. 7. 10	〃 ②
H30. 7. 13	東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
H30. 7. 19	第2回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
H30. 7. 27	教科用図書採択研究会③
H30. 7. 30	第3回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
H30. 8. 14	能代市成人式
H30. 8. 29	能代市教育委員会訪問 (第五小学校)
H30. 9. 19	〃 (能代東中学校)
H30. 9. 21	〃 (淳城南小学校)
H30. 9. 25	第73回国民体育大会 (福井国体) 出場選手壮行会
H30. 9. 26	能代市教育委員会訪問 (二ツ井小学校)
H30. 9. 28	〃 (向能代小学校)
H30. 10. 1	〃 (鶴形小学校)
H30. 10. 4	〃 (二ツ井中学校)
H30. 10. 5	〃 (能代南中学校)
H30. 10. 6	小学生ふるさと学習交流会
H30. 10. 18	能代市教育委員会訪問 (東雲中学校)
H30. 10. 19	〃 (浅内小学校)
H30. 10. 23	〃 (朴瀬小学校)
H30. 10. 26	〃 (能代第一中学校)
H30. 10. 29	〃 (常盤小・中学校)
H30. 11. 1	秋田州市町村教育委員会連合会および県都市教育長協議会合同研修会
H30. 11. 12	能代市教育委員会訪問 (淳城西小学校)
H30. 11. 15	〃 (竹生小学校)
H30. 11. 16	〃 (能代第二中学校)
H30. 11. 19	〃 (崇徳小学校)
H30. 11. 21	〃 (第四小学校)
H30. 11. 28	能代山本市町教育委員会連合会委員研修会
H30. 12. 13	総合教育会議
H31. 3. 10	市内中学校卒業式
H31. 3. 14	市内小学校卒業式

能代市教育委員会事務点検・評価報告書  
(30年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail [kyouiku@city.noshiro.lg.jp](mailto:kyouiku@city.noshiro.lg.jp)